

【参考資料】

- ・ あいち自動車環境戦略 2020 に関する取組の実施状況一覧
- ・ リーフレット「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制に関する要綱」
- ・ チラシ「電気で走るクルマのための充電設備を設置しましょう」「従業員のための充電設備を設置しましょう」
- ・ リーフレット「エコドライブでいこう！」
- ・ 愛知県内の水素ステーションマップ
- ・ リーフレット「エコカーにしよう」
- ・ チラシ「先進環境対応自動車導入促進費補助金のご案内」
- ・ チラシ「国道 23 号通行ルール（名古屋南部地域）」

あいち自動車環境戦略2020に関する取組の実施状況一覧

(令和元年11月現在)

目次

1	自動車単体対策の強化等	・・・	1
2	車種規制の実施及び流入車の排出基準の適合車への転換の促進	・・・	4
3	低公害車の普及促進	・・・	5
4	エコドライブの普及促進	・・・	13
5	交通需要の調整・低減	・・・	17
6	交通流対策の推進	・・・	32
7	自動車交通集中地域等の対策の推進	・・・	34
8	普及啓発活動の推進	・・・	34
9	道路環境改善対策	・・・	37

※あいち自動車環境戦略2020に掲げる施策ごとに分類しています。

1 自動車単体対策の強化等

(1) ディーゼル車対策の促進

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組 (予定も含む)	2020年度以降に実施予定の取組	
1 最新規制適合車の普及	中部運輸局	順次強化される排出ガス規制及び導入される排出ガス新試験モードを当該自動車の製作年月日、車種及び車両総重量等により区分して適用。	継続		
	名古屋市	○最新規制適合自動車代替促進事業 中小企業事業者、幼稚園・保育園、福祉施設等が車齢8年超えの貨物自動車等をより環境性能のよい、最新規制適合車へ代替する場合に補助を実施。(H30年度:11台)	継続	中小企業事業者、幼稚園・保育園、福祉施設等が車齢8年超えの貨物自動車等をより環境性能のよい、最新規制適合車へ代替する場合に補助を実施。	
	(一社)愛知県トラック協会	○ポスト新長期規制適合車導入に係る近代化基金融資 ポスト新長期規制適合車を購入する際の利子の一部補給 (136件)	継続	継続	継続予定
	石油連盟	サルファーフリー自動車燃料(硫黄分10ppm以下のガソリン・軽油)を供給し、燃費・排ガス性能に優れた自動車の普及・運用に貢献しています。	継続		継続
	(一社)日本自動車工業会	ディーゼル重量車については、平成21(2009)年排出ガス規制に対応するために、電子制御による高圧多段燃料噴射、EGR(排気再循環システム)の精緻な制御による燃焼コントロール、DPF(ディーゼルパーティキュレートフィルター)やNox還元触媒などの技術をシステム化した排出ガス低減技術搭載車を市場に継続投入中。また、平成28(2016)年から導入された次期規制(Nox規制値強化やオフサイクル対策)への対応にも取り組んだ。	継続		継続
	(一社)日本自動車工業会(トヨタ自動車㈱)		継続	○ダイナ、トヨエースを一部改良し、全車「平成28年(ポスト・ポスト新長期)排出ガス規制」に適合 ○コースターを一部改良し、全車「平成28年(ポスト・ポスト新長期)排出ガス規制」に適合	継続
	南知多町	町が委託している乗り合いバス(海っ子バス)において、導入されている。	継続		継続
2 低公害建設機械の使用促進	中部地方整備局	【名国・愛国・名四】排出ガス対策型建設機械の使用 発注する工事においては、原則として排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(土木工事特記仕様書に記載)	継続		継続
	一宮市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(工事標準仕様書に記載)発注後の機械確認については、報告書に排出ガス対策型建設機械のステッカーの写真を添付してもらっている。	継続		継続
	春日井市	市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとした。(工事標準仕様書に記載)	継続		継続
	碧南市	市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(工事標準仕様書に記載) 使用確認については、施行計画及び建設機械の写真にて行う。	継続		継続
	西尾市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(愛知県建設部工事標準仕様書に準拠) 建設機械の確認については、施工計画及び完了写真で行う。	継続		継続
	新城市	○排出ガス対策型建設機器の使用 市が発注する工事においては、排出ガス対策型建設機器を使用することとしている。(設計書に記載)	継続		継続
	中日本高速道路㈱名古屋支社	低公害建設機械の使用促進 名古屋第二環状自動車道建設事業	継続	低公害建設機械の使用促進 名古屋第二環状自動車道建設事業	低公害建設機械の使用促進 名古屋第二環状自動車道建設事業 西尾張インターチェンジ建設事業
	名古屋高速道路公社	○排出ガス対策型建設機械指定制度の推進 排出ガス対策型建設機械指定制度(第3次基準) (H18年3月)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械の使用原則化	継続		継続
	愛知県道路公社	○排出ガス対策型建設機械の使用 ・発注する工事においては、原則、指定された排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(愛知県建設部土木工事標準仕様書に準拠) ・確認方法は、工事完了時に使用した排出ガス対策型建設機械の写真を提出することとし、確認している。	継続		継続

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
2 低公害建設機械の使用促進	瀬戸市	排出ガス対策型建設機器の使用（市が発注する工事においては、原則排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工事標準仕様書に記載））	継続		継続	
	刈谷市	○排気ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（設計書に記載） 建設機械の確認については、施行計画及び建設機械の写真にて行う。	継続		継続	
	蒲郡市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（特記仕様書に記載、施工計画書、立会時及び完了写真で確認）	継続		継続	
	江南市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。 『積算基準及び仕様表 愛知県建設部監修』を準拠	継続		継続	
	小牧市	排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	稲沢市	●低公害建設機械の使用促進 排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工業標準仕様書に記載）	継続	●低公害建設機械の使用促進 排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工業標準仕様書に記載）	継続	●低公害建設機械の使用促進 排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工業標準仕様書に記載）
	知多市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用。（愛知県建設部土木工事標準仕様書に準拠） 使用機械の確認実績 施行計画書に記載の使用機械の確認及び完了写真で確認。	継続		継続	
	高浜市	低公害建設機械の使用促進 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。 （工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	北名古屋	・排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事に対しては、原則排出ガス対策型建設機械の使用を求めている。 （工事標準仕様書に記載） ・低騒音型・低振動型建設機械 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」に基づき、市が発注する土木・建設工事の設計図書等で 使用を義務づけ、使用を求めた（土木工事標準仕様書・建設工事特記仕様書に記載）	継続		継続	
	扶桑町	排出ガス対策型建設機械の使用 町が発注する工事において、排出ガス対策型の建設機械を使用 （工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	飛島村	排出ガス対策型建設機械の使用 村が発注する工事については、原則排出ガス対策型建設機械を使用することとする。 （工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	幸田町	○排出ガス対策型建設機械の使用 町が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	武豊町	○排出ガス対策型建設機械の使用 町が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。 （愛知県建設部工事標準仕様書に準ずる）	継続		継続	
愛知県	○排出ガス対策型建設機械 「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」等に基づき、愛知県建設部が発注する土木工事に対して、排出ガス対策型建設機械の使用を義務づけている。（土木工事標準仕様書に記載） また、愛知県建設部が発注する建築工事に対して、基本的には排出ガス対策型建設機械の使用を求めている。（建築工事特記仕様書） ○低騒音型・低振動型建設機械 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」に基づき、愛知県建設部が発注する土木・建築工事の設計図書で使用を義務づけた場合には、低騒音型・低振動型建設機械を使用することとしている。（土木工事標準仕様書・建築工事特記仕様書に記載）	継続		継続		

(2) 啓発活動の実施

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組 (予定も含む)		2020年度以降に実施予定の取組	
1 ディーゼル黒煙街頭検査・クリーンキャンペーンの実施	中部運輸局	名古屋南部周辺において、ディーゼル車を対象とした街頭検査を実施し、規制値を超える黒煙を排出する等の整備不良車に対し、必要な整備を命じるとともに、点検整備の励行などの啓発活動。(愛知県内黒煙検査: 1回、1台検査) 運輸支局に不正改造車・黒煙相談窓口(不正改造車・黒煙110番)を設置し、通報を受けたユーザーにハガキを送付し、自主点検等を指導。(愛知県内不正改造車通報件数341件、ハガキ送付枚数315枚、うち6月の強化月間中の不正改造車通報件数52件、ハガキ送付枚数52枚)	継続			
	愛知県	国道23号・大府市北崎町及び弥富市三好においてエコドライブの普及啓発活動を中部地方整備局・中部運輸局・警察本部の取組み等と合同で5回実施。	継続	4回実施(10月末まで)	継続	
	中部地方整備局	【名国・愛国・名四】車輛点検整備の励行事務所の所管する車輛においては点検整備を励行している。	継続		継続	
2 車両点検整備の励行	中部運輸局	9月及び10月に定期点検整備推進運動を実施し、ポスター及びチラシによる広報活動と街頭検査時における定期点検の励行を指導。	継続			
	一宮市	車両点検整備の励行	継続	車両点検整備の励行	継続	車両点検整備の励行
	春日井市	車両点検整備の励行 所有する車両について、点検整備を励行している。	継続		継続	
	(公社)愛知県バス協会	自動車点検整備推進運動 会員事業者への周知と会員事業者へエアクリナー・エレメント、燃料フィルター等の点検整備、アイドリングストップ装置付き車のスターターモーター等の点検整備実施の呼びかけ	継続		継続	
	(一社)日本ガス協会(東邦ガス株)	車輛点検整備を3カ月毎に実施	継続		継続	
	(一社)日本自動車工業会	車両の定期点検に関する啓発ポスターを作成し、ウェブサイトに掲載。	継続		継続	
	中部電力(株)	車両運行前点検の確実に実施するとともに、既存車の適切な点検・整備により燃費を維持し、車両の延命化を図る。	継続	車両運行前点検の確実に実施するとともに、既存車の適切な点検・整備により燃費を維持し、車両の延命化を図る。	継続	車両運行前点検の確実に実施するとともに、既存車の適切な点検・整備により燃費を維持し、車両の延命化を図る。
	東海市	車両点検整備の励行	継続		継続	
	幸田町	○公用車点検の実施 町が管理する公用車については、月1回の業者点検を実施。	継続		継続	
	愛知県	○車両点検整備の励行 財産管理課で管理している貸出車両(バン)については、運行前後に車両点検を行い、財産管理課自動車運転手が運行する公用車については、各担当者が定期的に点検を行っている。	継続		継続	
	3 不正混和軽油等の使用防止	中部運輸局	ディーゼル車に対し、街頭検査で軽油抜き取り検査を実施し、不正軽油の使用防止を図る。(愛知県内不正軽油検査4回、17台検査)	継続		
愛知県		愛知県不正軽油撲滅対策会議を設置し、軽油抜き取り調査を実施し、不正軽油撲滅のための広報活動等を行う。	継続		継続	

2 車種規制の実施及び流入車の排出基準の適合車への転換の促進

(1) 規制の実施、強化等

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
1 自動車NOx・PM法に基づく施策の実施	一宮市	はしご付消防自動車をNOx・PM法適合車両に更新（本署）。	継続	はしご付消防自動車をNOx・PM法適合車両に更新予定（尾西署）。	終了	
	愛知県	環境省の委託により、総量削減計画進行管理調査を実施	継続		継続	
2 排出ガス規制の強化等	愛知県	・「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」に基づき、特定特殊自動車の使用について立入検査等を実施。	継続		継続	
3 車種規制非適合車の仕様抑制の推進	中部地方整備局	【名国】特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において指導取締りを2回実施した。 国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを2回実施した。	継続	【名国】特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町及び国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを7回実施予定。	継続	
	名古屋市	○車種規制非適合車の使用抑制等に関する取り組み ①非適合貨物自動車等の使用者の把握 非適合貨物自動車等の実態を把握するために、国道23号を通行する車のナンバープレートの調査を実施。 ②普及啓発 市内の荷主等及び非適合貨物自動車等の使用者に対し、使用抑制のパンフレットを送付	継続		継続	
	岡崎市	○車種規制非適合車の使用抑制の推進 貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱に基づき、非適合車の使用抑制を推進する。	継続		継続	
	愛知県	○貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制 「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」に基づき、農林基盤局が発注する工事において、「自動車NOx・PM法」の対象地域外からの流入車も含め、車種規制非適合車の使用抑制に努めることとしている。（工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
		荷主等に対し、車種規制非適合車の使用抑制が図られるよう、県事務所による立入指導を実施。 要綱に基づく届出を実施させるため、届出対象事業者に対して通知を行うとともに、未提出事業所に対しては、指導・立入等を行い、届出の徹底を図る。	継続		継続	

3 低公害車の普及促進

(1) 次世代自動車等先進エコカーの導入促進

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組 (予定も含む)		2020年度以降に実施予定の取組	
1 次世代自動車等先進エコカー導入に対する 助成・優遇措置	中部運輸局	超小型モビリティの普及や地方自治体、観光・流通関係事業者、ディベロッパー等の主導による先行導入や試行導入に対し支援。	継続			
		平成29年度より、環境対応車導入事業と地域交通グリーン化事業を統合。次世代自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの次世代自動車の導入を重点的に支援するため、「地域交通のグリーン化に向けた次世代環境対応車普及促進事業」を公募。(低公害車普及促進対策費補助金、愛知県内補助件数：93台)	継続	次世代自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの次世代自動車の導入を重点的に支援するため、「地域交通のグリーン化に向けた次世代自動車普及促進事業」を公募。(自動車環境総合改善対策費補助金)		
		物流の低炭素化促進事業の公募、周知	継続			
	中部地方環境事務所	○低炭素型ディーゼルトラック普及加速事業(国土交通省連携) 対象者：トラック運送業者(中小事業者に限る) 対象車両：低炭素型ディーゼルトラック(大・中型は2015年度燃費基準+5%以上、小型は+10%以上達成車)	継続	(今年度限り)		(後継事業に関しては未定)
		○先進環境対応トラック・バス導入加速事業(国交省・経産省連携事業)(今年度限り) 対象者：トラック・バス所有事業者 対象車両：電気(標準的燃費水準の車両との差額の一定率(2/3)を補助)・ハイブリッド(プラグインハイブリッド含む)・天然ガスのトラック・バス(購入又はリース)(標準的燃費水準の車両との差額の一定率(1/2)を補助)	継続	○電動化対応トラック・バス導入加速事業(国交省・経産省連携事業)(2021年度まで継続予定) 対象者：地方公共団体、トラック・バス所有事業者 対象車両：電気、ハイブリッド(プラグインハイブリッド含む)のトラック・バスで、標準的燃費水準車両との差額の一定率(HV:1/2、EV:1/3)を補助。そのほか充電設備について、導入費用の1/2を補助。	継続	(2021年度まで継続予定)
		○水素社会実現に向けた産業車両等における燃料電池化促進事業(一部国土交通省連携) 対象者：民間団体等 対象車両：燃料電池バス(車両本体価格の1/3を補助)	継続	(今年度限り)		(後継事業に関しては未定)
	豊橋市	○電気自動車等購入補助金 電気自動車、プラグインハイブリッド、燃料電池自動車の購入への補助 (EV43台、PHV52台、FCV1台)	継続		継続	
		○電動バイク購入補助金 電動バイク購入への補助(5台)	継続		継続	
	岡崎市	○事業用の低公害車(3、5ナンバーを除く)を購入する中小企業者に融資をあっせんし、融資利子相当額を補助している。(予算額481千円)	継続	○事業用の低公害車(3、5ナンバーを除く)を購入する中小企業者に融資をあっせんし、融資利子相当額を補助している。(予算額201千円)	継続	
		○次世代自動車(FCV、EV、PHV)補助金の実施(予算額9,500千円)	継続	○次世代自動車(FCV、EV、PHV)補助金の実施(予算額9,500千円)	継続	
	豊川市	○クリーンエネルギー自動車購入費補助金 電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド自動車(PHV)、燃料電池自動車(FCV)の購入費の補助 (EV17台、PHV40台、FCV1台)	継続			終了
	豊田市	次世代自動車普及促進費補助金 次世代自動車の購入に対して補助金を交付 個人向け：207件 事業者向け：33件	継続	次世代自動車普及促進費補助金(9月末時点) 次世代自動車の購入に対して補助金を交付 個人向け：64件 事業者向け：12件	継続	引続き補助を予定
	西尾市	○低公害車普及促進事業補助金 低公害車を導入する個人及び法人に対して補助金を交付。(87台)	継続		継続	
(一社)愛知県トラック協会	○低公害車導入助成 CNGトラック、ハイブリッドトラックを導入する事業者に対して補助金を交付(CNG：4台、ハイブリッド67台)	継続		継続	継続予定	
(公社)愛知県バス協会	ハイブリッドバス、CNGバス、燃料電池バス、電気バス等低公害、低燃費バスに対する助成措置	継続		継続		

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）	2020年度以降に実施予定の取組	
1 次世代自動車等先進エコー導入に対する 助成・優遇措置	刈谷市	<p>○低公害車購入費補助制度 低公害車を新規購入され、一定の条件を満たす市民、市内事業者へ補助金の交付を実施。 ●電気自動車、プラグインハイブリッド自動車 個人：1台につき車両本体価格（税抜）の10%（上限30万円） 事業者：1台につき15万円 ●ハイブリッド自動車、天然ガス自動車 1台につき5万円 ●燃料電池自動車 個人：車両本体価格と一般社団法人次世代自動車振興センターが定める該当車両の基準額との差額に2/3を乗じて得た額を、車両本体価格から差し引いた額の10%（上限50万円） 事業者：車両本体価格と一般社団法人次世代自動車振興センターが定める該当車両の基準額との差額に11/12を乗じて得た額を、車両本体価格から差し引いた額の10%（上限40万円） ○ハイブリッド自動車、天然ガス自動車については、9月30日までの新規登録分までで補助終了。 【補助実績】 燃料電池自動車 : 5台 電気自動車 : 17台 プラグインハイブリッド自動車 : 68台 ハイブリッド自動車 : 680台 合計 : 770台</p>	継続	<p>○次世代自動車購入費補助制度 次世代自動車を新規購入され、一定の条件を満たす市民、市内事業者へ補助金の交付を実施。 ●電気自動車、プラグインハイブリッド自動車 個人：1台につき車両本体価格（税抜）の10%（上限30万円） 事業者：1台につき15万円 （プラグインハイブリッド自動車は排気量1800cc以下） ●燃料電池自動車 個人：車両本体価格と一般社団法人次世代自動車振興センターが定める該当車両の基準額との差額に2/3を乗じて得た額を、車両本体価格から差し引いた額の10%（上限50万円） 事業者：車両本体価格と一般社団法人次世代自動車振興センターが定める該当車両の基準額との差額に11/12を乗じて得た額を、車両本体価格から差し引いた額の10%（上限40万円） ●超小型電気自動車 個人・事業者：1台につき車両本体価格（税抜）の10%（上限7万円）</p>	継続
	安城市	<p>○次世代自動車購入費補助制度 FCV・EV・PHVの購入者に対して補助金を交付する（85件）</p>	継続	継続	
	知立市	<p>○次世代自動車普及促進費補助金 個人が購入する電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入補助 補助額は、電気自動車又はプラグインハイブリッド自動車については8万円、燃料電池自動車については30万円</p>	継続	<p>○次世代自動車普及促進費補助金 個人が購入する電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入補助 補助額は、電気自動車又はプラグインハイブリッド自動車については5万円、燃料電池自動車については20万円</p>	継続
	みよし市	<p>○エコエネルギー促進事業補助金（低公害車） 低公害車を導入する個人に対して補助金を交付。 FCV: 上限35万、EV、PHV: 上限15万（HVの上限5万は廃止） 事業者向けも開始。</p>	継続	継続	継続
	幸田町	<p>○低公害車導入促進費補助金 次世代自動車（FCV・EV・PHV）を購入する町内の個人・業者に対して補助金を交付。 （PHV 10台（個人9、事業者1） EV 5台（個人））</p>	継続	継続	継続
	東栄町	<p>○次世代自動車購入費補助金</p>	継続	継続	継続
	愛知県	<p>2013年4月以降に新車新規登録を受けたEV・PHV・FCVに対する自動車税の課税免除</p>	継続	2020年度末までに新車新規登録を受けたEV・PHV・FCVが対象（2019年10月以降は自動車税種別割）	継続
		<p>○燃料電池産業車両導入促進事業費補助金 燃料電池フォークリフトの導入を支援するため、通常のフォークリフトとの差額の一部を補助（2件）。</p>	継続	継続	未定
<p>低公害車を導入する事業者に対して補助金を交付。 対象車種：CNGトラック・CNGバス、ハイブリッドトラック・ハイブリッドバス、電気自動車トラック、PHVトラック、PHV乗用車、FCV 【実績】243台</p>		継続	<p>先進環境対応自動車を導入する事業者に対して補助金を交付。 対象車種：CNG（トラック・バス）、優良HV（トラック・バス）、ハイブリッドUDタクシー、EV（トラック・バス・乗用車）、PHV（トラック・バス・乗用車）、FCV（バス・乗用車）</p>	継続	

施策名	実施主体	2018年度実施した取組		2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
3 公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入	東海農政局	公用車の低公害・低燃費車の率先導入を継続して実施。	継続	(2019年度の更新予定はなし)	継続		
	中部運輸局	公用車を更新する際には、原則低公害車を導入（現状：ハイブリッド車16台、低排出・低燃費車12台、燃料電池自動車1台）	継続				
	中部地方環境事務所	公用車へハイブリッド車を導入（3台：特殊作業車含む）。うち、低排出ガス及び低燃費車は2台	継続	(更新未定)	継続	(更新未定)	
	名古屋市	○公用車への次世代自動車の導入	継続	・区役所に燃料電池自動車（計16台）を導入予定	継続		
		○市バスへの低公害車の導入 ・2016年規制適合バス52両導入（低公害バス） 累計758両（74%）	継続	・2016年規制適合バス45両導入（低公害バス累計803両（79%））	継続	・2016年規制適合バスの導入	
	豊橋市	公用車にEV1台を導入	継続	公用車にクリーンエネルギー自動車を導入（2020年までに3台/年ずつ導入予定）	継続		
	春日井市	公用車として、電気自動車3台、ハイブリッド車5台、天然ガス車1台、クリーンディーゼル車32台を所有	継続		継続		
	津島市	○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 巡回バスの運行を、クリーンディーゼルの小型バス2台で行った。	継続		継続		
	豊田市	公用車の率先導入 燃料電池自動車 0台 プラグインハイブリッド自動車 2台 ハイブリッド自動車 8台 天然ガス自動車 0台 電気自動車 0台 ☆☆☆☆☆&平成27年度燃費基準達成車 13台 ☆☆☆☆ 0台	継続	公用車の率先導入 燃料電池自動車 0台 プラグインハイブリッド自動車 0台 ハイブリッド自動車 11台 天然ガス自動車 0台 電気自動車 0台 ☆☆☆☆☆&平成27年度燃費基準達成車 12台 ☆☆☆☆ 0台	継続	公用車への次世代自動車等先進エコカーを率先して導入する	
	西尾市	公用車に次世代自動車等エコカーを導入。	継続		継続		
	新城市	○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 公用車の買い替えを行う際は導入していく	継続		継続		
	日進市	公用車へのエコカー導入	継続	公用車へのエコカー導入	継続	公用車へのエコカー導入	
	豊山町	公用車購入事業として、低公害・低燃費車（平成32年度燃費基準40%・平成27年度燃費基準20%向上達成車）1台の買替を実施した。	継続	日本赤十字社愛知県支部から救護自動車配備要望による配備を受け、低公害・低燃費車（平成27年度燃費基準20%向上達成車）1台を更新した。	継続	公用車買替基準等に基づき、毎年度低公害・低燃費車1台又は2台ずつ買替を行う。	
	大口町	該当なし	継続	該当なし	継続	公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入	
	名古屋高速道路公社	○低公害・低燃費車の率先導入による普及啓発 ・ハイブリッド車：4台 ・低排出ガス車（新☆☆☆☆、新☆☆☆）：26台 ・ポスト新長期：42台 ・新長期：9台	継続		継続		
	瀬戸市	公用車にHV車1台導入	継続		継続		
	刈谷市	公用車に4台エコカーを導入 【導入実績】 購入車 4台 (低燃費車 4台)	継続		継続		
	蒲郡市	公用車に低公害車（低排出ガスや低燃費の基準をみたまもの）を5台導入	継続	公用車に低公害車（低排出ガスや低燃費の基準をみたまもの）を9台導入	継続		
	犬山市	現保有ハイブリッド車継続使用	継続		継続		
	稲沢市	●ガソリン車→先進エコカー買い替え（2台）	継続	●ガソリン車→先進エコカー買い替え（5台）	継続	●ガソリン車→先進エコカー買い替え（12台）	

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組		
3 公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入	大府市	従来車をエコカーへの転換（HV3台）	継続		継続		
	知立市	公用車へのPHV購入（1台）	継続	公用車へのPHV購入予定（1台）	継続		
	尾張旭市	老朽化した公用車の代替として、ハイブリッド自動車1台を購入した。	継続		継続		
	高浜市	公用車に低排出ガス車を導入（リース車含む） EV・PHVの実績なし	継続		継続		
	田原市	○公用車へのエコカー率先導入 公用車の更新のタイミングで低排出ガス車などへの切り替えを実施	継続		継続		
	清須市	公用車として、ハイブリッド車4台を所有。公用車に次世代自動車等先進エコカーを導入（EV2台）	継続		継続		
	北名古屋	・公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 ・市役所公用車の低公害車への転換率の向上	継続		継続		
	みよし市	公用車に低公害車等を計画的に導入 （H30は0台も今後も継続して取り組む）	継続		継続		
	あま市	・公用車への低公害・低燃費車の購入（4台）	終了		終了		
	扶桑町	公用車に低公害車を計画的導入・ハイブリッド車の計画的導入	継続		継続		
	美浜町	公用車に低公害・低燃費車を導入（1台）	継続	公用車に低公害・低燃費車を導入	継続	公用車に低公害・低燃費車を導入	
	東栄町	公用車の購入時に導入を検討	継続	公用車の購入時に導入を検討			
	愛知県	県公用車への次世代自動車等先進エコカー導入（低排出かつ低燃費車、HV、PHV、FCV（リース）） 【実績】HV9台、低排出かつ低燃費車51台	継続		継続		
	4 従来車の次世代自動車等先進エコカーへの転換促進	名古屋市	○グリーン配送の実施 平成18年度より、物品を納入する事業者等に低公害・低燃費車などの使用を求める「グリーン配送」を実施。	継続		継続	
春日井市		環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいいエコオフィス認定事業所において、次世代自動車の導入を推進	継続		継続		
(一社) 日本ガス協会 (東邦ガス(株))		天然ガス自動車 15台導入 (天然ガス自動車累計401台導入2018年度末)	継続	天然ガス自動車 13台導入	継続		
一般社団法人日本自動車工業会 (トヨタ自動車(株))		○ハイブリッド車グローバル累計販売台数1,300万台達成 ○2020年頃以降のFCV販売拡大に向け燃料電池スタックと高圧水素タンク生産設備を拡充	継続	○ハイブリッド車グローバル累計販売台数1,400万台達成 ○ハイブリッド車開発で培ったモーター・PCU・システム制御等車両電動化技術の特許実施権を無償で提供	継続	○東京2020オリンピック・パラリンピックを電動車のフルラインナップと多様なモビリティでサポート ・モビリティの約90%を電動車 ・専用車を開発	
中部電力(株)		なし	継続	なし	継続	プラグインハイブリッド車の導入（数量未定）	
愛知県				新規	○セントレア水素社会形成WG 中部国際空港島のシャトルバスの運行の一部を燃料電池バスに置き換え。	継続	未定
			○グリーン配送の実施	継続		継続	

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）	2020年度以降に実施予定の取組
6 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の普及促進	中部運輸局	次世代自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの次世代自動車の導入を重点的に支援するため、「地域交通のグリーン化に向けた次世代環境対応車普及促進事業」を公募。（低公害車普及促進対策費補助金）	継続 次世代自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの次世代自動車の導入を重点的に支援するため、「地域交通のグリーン化に向けた次世代自動車普及促進事業」を公募。（自動車環境総合改善対策費補助金）	
	名古屋市	○超小型モビリティ認定制度 事業者（2社）による超小型電気自動車の導入促進（計5台 実証実験を実施）	継続	継続
	岡崎市	○電気自動車用急速充電設備開放事業 市役所、道の駅等に電気自動車充電器を整備し、一般開放している。 ○エコドライブコンテスト（11月25日開催15名参加） PHEVの展示、試乗の実施 ○環境フェスタ（1月19日開催（豊田、安城、知立、みよし合同） EV・PHEVの展示 ○次世代自動車丸ごと体験会 豊田市、安城市、知立市、みよし市と合同で三菱自動車㈱岡崎製作所の見学会を実施し、合わせてPHEVの試乗を実施した（8月9日開催97名参加うち市内参加者25名）	継続 ○電気自動車用急速充電設備開放事業 市役所、道の駅等に電気自動車充電器を整備し、一般開放している。 ○エコドライブコンテスト（11月24日開催予定） EVの展示、試乗の実施	継続
	春日井市	国道19号交通事故抑止「T&K作戦」（4月13日）、緑と花のフェスティバル（5月3日から5月5日）、消費生活展（6月8、9日）、エコライフDAYにおける「打ち水」（8月1日）、春日井まつり（10月20、21日）、エコメッセフェスタ（11月18日）において電気自動車を展示	継続 国道19号交通事故抑止「T&K作戦」（4月13日）、緑と花のフェスティバル（5月3日から5月5日）、消費生活展（6月7、8日）、エコライフDAYにおける「打ち水」（8月7日）、春日井まつりにおいて電気自動車を展示	継続
	大府市	○電気自動車等充電設備開放事業 電気自動車等充電設備を市内2か所設置し、一般開放している。	継続	継続
	愛知県	EV・PHVタウン事業の推進（ネットワーク運営、マスタープラン改訂、普及啓発チラシ作成等） 「従業員向け充電設備整備促進ガイドライン」及び「EV・PHV用充電設備整備促進ガイドライン」を作成（平成28年3月）	継続	継続

(2) 燃料供給施設等のインフラ整備促進

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組(予定も含む)	2020年度以降に実施予定の取組	
1 充電インフラ設備の整備促進	中部運輸局	次世代自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの次世代自動車の導入を重点的に支援するため、「地域交通のグリーン化に向けた次世代環境対応車普及促進事業」を公募。(低公害車普及促進対策費補助金)	継続 次世代自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの次世代自動車の導入を重点的に支援するため、「地域交通のグリーン化に向けた次世代自動車普及促進事業」を公募。(自動車環境総合改善対策費補助金)	終了	
	豊橋市	○住宅用充電設備導入補助金 次世代自動車の住宅用の充電設備への補助(24件)	継続 ○住宅用充電設備導入補助金 次世代自動車の住宅用の充電設備への補助(5基)	継続	
		公共施設での充電設備の運用(普通充電器19基、急速充電器5基)、ICカード認証システムの導入	継続 公共施設での充電設備の追加 (普通充電器19基、急速充電器7基)	継続	
	碧南市	市役所駐車場に設置した電気自動車充電スタンド1基を維持管理している。	継続	継続	
	豊田市	・市内公共施設に設置した34箇所45基の充電器を施設利用者に向けて無料開放 ・市HP、あいちEV・PHV普及ネットワークポータルサイト等で施設情報を公開	継続 ・引き続き無料開放予定 ・市HP、あいちEV・PHV普及ネットワークポータルサイト等で施設情報を公開	継続 ・引き続き無料開放予定 ・市HP、あいちEV・PHV普及ネットワークポータルサイト等で施設情報を公開	
	日進市	電気自動車充電設備(V2H)を設置した市民への補助金	継続 電気自動車充電設備(V2H)を設置した市民への補助金	継続 電気自動車充電設備(V2H)を設置した市民への補助金	
	中日本高速道路(株)名古屋支社	充電インフラ設備の整備促進 整備実績なし	継続 充電インフラ設備の整備促進 整備実績および整備予定なし	継続 充電インフラ設備の整備促進 未定	
	中部電力(株)	なし	継続 なし	継続 同上用の充電設備の設置(数量未定)	
	蒲郡市	電気自動車等(電気自動車またはプラグインハイブリッド自動車)充電設備購入補助金を交付(2件分)	継続	継続	
	犬山市	電気自動車等充電設備導入費補助金(1基につき5万)	継続	継続	
	大府市	○電気自動車等充電設備開放事業 電気自動車等充電設備を市内2か所設置し、一般開放している。	継続	継続	
	尾張旭市	○電気自動車等充電設備設置費補助 電気自動車等充電設備設置に係る経費の一部を補助(実績:0件)	継続	継続	
	清須市	○住宅用地球温暖化対策設備設置費補助 電気自動車等充電設備を設置する者に対し、予算の範囲内で補助金を交付(1台)	継続	継続	
	みよし市	○エコエネルギー促進事業補助金(電気自動車等充電設備) 電気自動車等充電設備を導入する個人に対して補助金を交付。上限5万	継続	継続	
	長久手市	電気自動車等充電設備設置補助	継続	継続 未定	
	東郷町	電気自動車等充電設備(V2Hの設備に限る)の設置費等に対する補助金の交付	継続	継続	
	愛知県	あいち次世代自動車インフラ整備推進協議会の開催(1回)	継続	継続	
		平成26年11月4日に運用開始した愛知県庁本庁舎正面玄関横に普通充電器(1基)の運用	継続	継続	
	2 天然ガススタンドの整備促進	中部運輸局	物流の低炭素化促進事業の公募、周知	継続	
		(一社)日本ガス協会(東邦ガス(株))	大型天然ガストラック等の大型車両が利用できる天然ガススタンドに対し補助金※を活用し、スタンド改修及び充填設備のオーバーホールを実施し、スタンドの維持・継続を図る。(愛知県内3件:当社2件含む) 対象は、名古屋(徳川エコ・ステーション、北頭エコ・ステーション)。 ※「天然ガスの環境調和等に資する利用促進事業補助金」:国土強靱化・環境への貢献を目的とし、大型天然ガス車両が利用できる天然ガススタンドの整備に対して助成を行うもの	継続 大型天然ガストラック等の大型車両が利用できる天然ガススタンドに対し補助金を活用し、スタンド改修及び充填設備のオーバーホールを実施し、スタンドの維持・継続を図る。(愛知県内4箇所:東邦ガス直営スタンド2箇所含む)	継続 ←

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
3 水素供給施設の整備促進	中部経済産業局	■中部F C V水素供給インフラ整備推進会議の運営 ・水素ステーション整備支援 ・セミナー開催や各種情報発信等による普及啓発活動	継続		継続	
	豊田市	とよたエコプラタウンにおいて水素ステーションと燃料電池自動車の仕組みや導入の効果等をPR	継続	引続きPRを予定	継続	引続きPRを予定
	石油連盟	石油各社は、自社あるいは日本水素ステーションネットワーク合同会社（JHyM）を通じて、燃料電池自動車の普及に不可欠な水素ステーションの建設・運営に取り組んでいます。 県内ではJXTGエネルギーが計6か所のステーションを運営しています。	継続		継続	
	(一社)日本ガス協会（東邦ガス㈱）	HySUTが実施するNEDO事業（水素ステーション関連の技術開発）に参画 ※NEDO：(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 HySUT：(一社)水素供給利用技術協会	継続		継続	
		開所済みの商用水素ステーション3箇所（日進市、豊田市、名古屋市）、水素出荷設備1箇所（東海市）の運営継続	継続	開所済みの商用水素ステーション4箇所（日進市、豊田市、名古屋市、常滑市）、水素出荷設備1箇所（東海市）の運営継続	継続	
		JHyMへの加入 ※日本水素ステーションネットワーク合同会社	継続		継続	
		商用水素ステーション1箇所（常滑市）の整備、運営	終了			
	(一社)日本自動車工業会（トヨタ自動車㈱）	○愛知県、県内企業、自治体及び有識者で構成する「あいち低炭素水素サプライチェーン」をスタート	継続	○セブン-イレブン・ジャパンとCO2大幅排出削減を目指した次世代型コンビニ店舗の共同プロジェクトを2019年秋より開始	継続	
	安城市	○燃料電池自動車用水素供給設備整備費補助金制度 燃料電池自動車用水素供給設備を整備する者に補助金を交付する（0件）	継続		継続	
	愛知県	■中部F C V水素供給インフラ整備推進会議の運営 ・水素ステーション整備支援 ・セミナー開催や各種情報発信等による普及啓発活動	継続		継続	
○水素ステーション整備費補助金 水素ステーションの整備費の一部を補助（4件）。 ○水素ステーション需要創出活動費補助金 水素ステーションの運営費の一部を補助（16件）。		継続		継続		

(3) 次世代自動車等先進エコカーの研究・開発

施策名	実施主体	2018年度実施した取組		2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
1 次世代自動車等先進エコカーの研究・開発の促進	(一社) 日本ガス協会 (東邦ガス㈱)	天然ガス自動車の開発促進	継続	←	継続	←	
	(一社) 日本自動車工業会 (トヨタ自動車㈱)	○新型クラウン (HV) を発売 ○新型カローラスポーツ (HV) を発売 ○新型センチュリー (HV) を発売 ○サクシード、プロボックス (HV) を発売 ○UX (HV) を発売 ○ES (HV) を発売	継続	○新型RAV4 (HV) を発売 ○新型カローラ (HV) を発売 ○新型カローラツーリング (HV) を発売	継続	○2030年に電動車の販売550万台以上、EV・FCVは100万台以上を目指す ○2025年頃までに、全車種を電動専用車もしくは電動グレード設定車導入を目指す	
	愛知県	○次世代自動車先端技術研修 中堅・中小の自動車部品メーカーの技術者等に対し、今後自動車業界で求められる次世代自動車に係る主要テーマ（電動化、自動運転、MaaSなど）について、最新技術の研究に関する講座を実施した。 【実績】 愛知県と一般社団法人中部産業連盟が連携し「自動車産業フォーラム2019」を実施。 開催日 2019年2月27日、3月8日 参加者数 131人 開催場所 ウィンクあいち 1103、1302会議室	継続	○次世代自動車先端技術研修 中堅・中小の自動車部品メーカーの技術者等に対して、次世代自動車の普及に伴う、産業構造の変化に対応した自動車メーカーや大手自動車部品メーカーの、今後の動向や取組みの理解を通して、新たなビジネスチャンスの拡大や自動車産業界を牽引できる人材育成に繋げるための講座を実施する。 【予定】 愛知県と一般社団法人中部産業連盟が連携し「自動車産業フォーラム2020」を実施。 開催日 2020年2月21日、3月6日 開催場所 ウィンクあいち	継続		
	(一社) 日本自動車工業会	会員メーカー各社は電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池車等の次世代自動車の開発・車種展開を推進した。 平成30(2018)年の乗用車新車販売において次世代自動車の占める台数の全体に対する割合は、37.8%となった。	継続		継続		

4 エコドライブの普及促進

(1) エコドライブの実践

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組
1 自動車運転免許の取得、更新時における エコドライブ教育の実施	愛知県警察本部	○ 交通の教本（全国版）、安全運転テキスト&ガイド（愛知県版）に交通公害及びエコドライブについての啓発内容を記載 ※ それぞれにエコドライブの項目を記載	継続		継続
	愛知県	エコドライブ普及啓発リーフレットを作成、県内の自動車学校を通じ、運転免許取得予定者へ配布	継続		継続
2 アイドリング・ストップの徹底	東海農政局	運転手へアイドリング・ストップを心がけるよう徹底	継続	運転手へアイドリング・ストップを心がけるよう徹底	継続
	名古屋市長	○アイドリングストップの義務化 平成15年度より、市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例に基づいて、アイドリング・ストップの遵守を指導。	継続		継続
	一宮市長	○アイドリングストップの啓発 一宮市住宅事業等に関する指導要綱の適用される建築等で、付随する駐車場が500㎡以上の場合、アイドリングストップを周知するよう指導。	継続		継続
		一宮市地球温暖化対策実行計画による、アイドリング・ストップの徹底	継続	一宮市地球温暖化対策実行計画による、アイドリング・ストップの徹底	一宮市地球温暖化対策実行計画による、アイドリング・ストップの徹底
	春日井市長	公共施設の駐車場に看板を設置するなど、アイドリング・ストップを徹底	継続		継続
		春日井市生活環境の保全に関する条例に基づき、駐車場面積200㎡以上の駐車場管理者に、駐車場利用者に対しアイドリングストップを周知するよう指導	継続		継続
		環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、アイドリングストップの徹底を推進	継続		継続
	日進市長		新規	日進市地球温暖化対策実行計画 区域施策編による、アイドリングストップの啓発	日進市地球温暖化対策実行計画 区域施策編による、アイドリングストップの啓発
	名古屋高速道路公社	○公社管理の駐車場においてアイドリング・ストップを実施 ・黒川ビル地下1階駐車場 ・高架下駐車場 ・管理基地駐車場	継続		継続
	(一社) 愛知県トラック協会	○EMS機器導入助成(アイドリング機器含む) EMS機器を導入する事業者に対して補助金を交付 (2,796件)	継続		継続
	(公社) 愛知県バス協会	アイドリングストップ運動 9月～11月の3か月間を「バスの環境対策強化月間」として会員事業者への日常的・アイドリング・ストップ実施の呼びかけと、乗合バスの信号待ち時におけるお客様への環境対策へのご理解、ご協力呼びかけ	継続		継続
	NPO法人ボランティアカーネイバース	アイドリング・ストップ、急発進や急停車の抑制など、エコドライブの実施（社用車・スタッフ車など）	継続	アイドリング・ストップ、急発進や急停車の抑制など、エコドライブの実施（社用車・スタッフ車など）	アイドリング・ストップ、急発進や急停車の抑制など、エコドライブの実施（社用車・スタッフ車など）
	(一社) 日本自動車工業会	エコドライブ啓発ツールとして作成したアニメーションを引き続き活用している。 また、自動車販売店連合会やJAFと連携しつつ、エコドライブ教習会に自工会から講師を派遣するなどして、活動の一層の充実にも取り組んでいる。	継続	これまで作成したアニメーションを引き続き活用している。このアニメーション・ツールを更に活用するためエコドライブのeラーニングツール及び、ゲームツールも作成し、提供を開始した。自工会のホームページに掲示するのみならず、地方自治体や関連団体へのエコドライブ啓発活動に提供した。	これまで作成したエコドライブ啓発ツールとしてアニメーションを継続活用する。また平成30年に作成するeラーニングツールも活用しエコドライブの啓発に活用する。また、自動車販売店連合会やJAFと連携しつつ、エコドライブ教習会に自工会から講師を派遣するなどして、活動の一層の充実にも取り組む予定。
	瀬戸市長	・公用車のアイドリング・ストップの徹底	継続		継続
小牧市長	小牧市環境マネジメントマニュアルに基づいた運用手順書によりアイドリングストップに努めている。	継続		継続	

施策名	実施主体	2018年度実施した取組		2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
2 アイドリング・ストップの徹底	大府市	環境マネジメントシステムに基づいた手順書によりアイドリング・ストップを推進している。	継続		継続		
	知多市	○アイドリング・ストップの徹底 アイドリング・ストップに協力して宣言していただける市民、事業者の募集。宣言した方に、ステッカーを配布	継続		継続		
	知立市	アイドリングストップ徹底を職員に啓発	継続		継続		
	尾張旭市	○アイドリングストップの励行 尾張旭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、職員にアイドリングストップを励行	継続		継続		
	高浜市	アイドリングストップの徹底 公共施設でポスター掲示等の啓発活動	継続		継続		
	岩倉市	アイドリングストップの励行	継続		継続		
	みよし市	○アイドリング・ストップの徹底 公用車のアイドリング・ストップを徹底	継続		継続		
	扶桑町	アイドリングストップの啓発実施	継続		継続		
	南知多町	町が委託している乗り合いバス（海っこバス）において、運行会社がアイドリングストップを推奨する運行をおこなっている。	継続		継続		
	幸田町	○アイドリングストップ啓発 職員を対象としたチェックシートで啓発を実施。	継続		継続		
	愛知県	・県条例においてアイドリングストップの実施を規定 ・アイドリングストップを徹底させるため、財産管理課自動車運転手に対して文書による注意喚起を実施	継続		継続		
3 事業所におけるエコドライブ推進リーダーの設置	名古屋市	○エコドライブマイスターの認定 平成20年度から、事業所内で積極的にエコドライブの実践を呼びかける「エコドライブマイスター」を認定。（累計4,140名認定）	継続		継続		
	(一社)愛知県トラック協会	○省エネ走行研修会の開催（242名）	継続		継続	継続予定	
	愛知県	中部トラック総合研修センターにおいてエコドライブ講習会を実施（JAFと共催） 【実績】3回開催、受講者36名	継続		継続		
4 エコドライブ・メンバーズクラブの普及	大府市	「地球温暖化防止月間」・「大気汚染防止推進月間」における啓発の一環で、広報、ホームページに掲載する。	継続		継続		
5 シンポジウムやコンテスト等イベントの開催	名古屋市	○エコドライブセミナー エコドライブ運転を学ぶ座学の講習会を開催。 （6月3日、11月18日、計25名） ○エコドライブトレーニング エコドライブ運転を学ぶ体験型講習会を開催。 （11月15日、31名）	継続	○エコドライブセミナー エコドライブ運転を学ぶ座学の講習会を開催。 （10月24日開催予定） ○エコドライブトレーニング エコドライブ運転を学ぶ体験型講習会を開催。 （11月17日、12月8日開催予定）	継続		
	豊橋市	6/24エコドライブ講習会を高等学校エコカーレースと同時開催（参加者8名）、エコカーレース内でエコドライブ啓発ブース設置（延べ122名に啓発） 豊橋市主催環境イベント内でエコドライブ啓発ブース設置	継続	豊橋市主催環境イベント内でエコドライブ啓発ブース設置予定	継続		
	岡崎市	○エコドライブコンテスト（11月25日開催15名参加）	継続	○エコドライブコンテスト（11月24日開催予定）	継続		
		エコドライブ講習会（11月29、30日開催、各12名参加）	継続	エコドライブ講習会（開催予定）	継続		
	春日井市	地域住民を対象とした家族交通安全教室の中でエコドライブについての講話を行い周知を実施	継続		継続		
	豊田市	トラックと交通安全・環境フェア、サンフラワーフェスティバル等イベントにおいて「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続	交通安全フェスタ、サンフラワーフェスティバル等イベントにおいて「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続	各種イベントにおいて「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	
	西尾市	エコドライブコンテストの開催。（11月18日）	継続	エコドライブコンテストの開催。（11月17日）	継続	未定	

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）	2020年度以降に実施予定の取組	
5 シンポジウムやコンテスト等イベントの開催	(一社)日本自動車連盟愛知支部	実車を使用して環境に優しい「エコドライブ」を学ぶ講習会を実施。車両に取り付けた燃費計とデータ記録装置を使って、参加者が運転した際の燃費をトレーニングの前後で計測、運転の特徴などを数値で把握し、その結果をもとに参加者に応じたアドバイスで「エコドライブ」を修得を目指す。 愛知県・名古屋市共催で5回実施	継続 実車を使用して環境に優しい「エコドライブ」を学ぶ講習会を実施。車両に取り付けた燃費計とデータ記録装置を使って、参加者が運転した際の燃費をトレーニングの前後で計測、運転の特徴などを数値で把握し、その結果をもとに参加者に応じたアドバイスで「エコドライブ」を修得を目指す。 愛知県・名古屋市共催で5回実施予定 9月20日現在2回実施	継続 実車を使用して環境に優しい「エコドライブ」を学ぶ講習会を実施。車両に取り付けた燃費計とデータ記録装置を使って、参加者が運転した際の燃費をトレーニングの前後で計測、運転の特徴などを数値で把握し、その結果をもとに参加者に応じたアドバイスで「エコドライブ」を修得を目指す。	
	(一社)日本自動車工業会	タイ、インドネシア、マレーシア、ベトナムなどの各国との会合、COP24等の国際的会合の機会を利用し、運輸部門の温暖化対策として車の高効率化ばかりに依存するのではなく、交通流の清流化やエコドライブも含めた統合的対策の重要性を政府、関係者に訴求する。	継続 タイ、インドネシア、マレーシアなどの各国との会合、COP25等の国際的会合の機会を利用し、運輸部門の温暖化対策として車の高効率化ばかりに依存するのではなく、交通流の清流化やエコドライブも含めた統合的対策の重要性を政府、関係者に訴求する。	継続	
	長久手市	エコドライブに関する普及啓発セミナーの実施	終了		
6 環境教育の推進	中部地方環境事務所	エコドライブに関する普及啓発「エコドライブ10のすすめ」リーフレットの配布を行っている。	継続	継続	
	岡崎市	○環境学習（10月2日開催47名参加）	継続 ○環境学習 7月9日開催（参加者40名） 9月27日開催予定（参加者25名） 随時募集中	継続	
	春日井市	エコドライブ普及啓発のため、実施方法がわかるステッカーを作成し公用車に貼付	継続	継続	
	豊川市	○職員向けの研修にてエコドライブを啓発 ・6/26開催、53人参加	継続 ○職員向けの研修にてエコドライブを啓発 ・6/19開催、53人参加	継続	
	碧南市	6月の「環境月間」、11月の「エコドライブ月間」、12月の「地球温暖化防止月間・大気汚染防止月間」にあわせ、広報紙で啓発している。	継続	継続	
	豊田市	交通安全学習センターの交通安全講習（企業向け）等において「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続 交通安全学習センターの交通安全講習（企業向け）等において「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続 交通安全学習センターの交通安全講習（企業向け）等において「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続 交通安全学習センターの交通安全講習（企業向け）等において「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け
		高齢者運転技術講習会にて「とよた3Sドライブ」の実践を呼びかけ	継続 高齢者運転技術講習会にて「とよた3Sドライブ」の実践を呼びかけ	継続 高齢者運転技術講習会にて「とよた3Sドライブ」の実践を呼びかけ	継続 高齢者運転技術講習会にて「とよた3Sドライブ」の実践を呼びかけ
	名古屋高速道路公社	○エコドライブの普及促進 ・ドライバーに対して、ラジオCM、ホームページ、道路情報板を利用したエコドライブ等の啓発	継続 ○エコドライブの普及促進 エコドライブ啓発チラシの作成・配布 エコドライブ啓発パネルの作成・展示	継続	
	常滑市	地球温暖化防止月間・大気汚染防止推進月間における啓発の一環として、市広報誌でエコドライブを推奨	継続	継続	
	小牧市	ホームページによる啓発。 環境フェアにおいてエコドライブシミュレーターを使い、エコドライブ診断を実施し、エコドライブの実践を呼び掛け。	継続 ホームページによる啓発 環境フェアにおいてエコドライブシミュレーターを使い、エコドライブ診断を実施し、エコドライブの実践を呼び掛け予定。	継続 ホームページによる啓発	
	大府市	職員向けの研修にてエコドライブを啓発	継続	継続	
	東浦町	職員に向けて、エコドライブを推奨した	継続	継続	

(2) エコドライブシステムの普及

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組 (予定も含む)	2020年度以降に実施予定の取組	
1 エコドライブ支援システムの普及	(一社) 愛知県トラック協会	○EMS機器導入助成 デジタル式運行計とエコドライブ支援機器を合わせて名称をEMS機器として補助金を交付	継続	継続	
	(一社) 日本自動車工業会	燃費計などのエコドライブツールの装着に積極的に取組んだ。その結果、平成30年に販売された乗用車については、ほぼすべての車種でエコドライブツールが装着された。	継続	継続	
	(一社) 日本自動車工業会 (トヨタ自動車株)	○乗用車にエコドライブ支援装置を装着して販売	継続	○乗用車にエコドライブ支援装置を装着して販売	
2 エコドライブ評価システムの普及	豊田市	エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発	継続	エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発	エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発
	(一社) 愛知県トラック協会	○グリーン経営認証取得助成 認証取得講習会の開催及び取得費用の一部を補助する (新規3件、更新40件)	継続	○グリーン経営認証取得助成 取得費用の一部を補助する (新規3件、更新40件) 認証取得講習会については廃止	継続予定
	(一社) 日本自動車工業会	一部のトラックメーカーにおいてではあるが、運送事業者向けにオンラインでの燃費管理システムを提供するとともに、燃費向上のための運転技術に関する講習会を開催。	継続		継続

5 交通需要の調整・低減

(1) 物流の改善

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組(予定も含む)		2020年度以降に実施予定の取組	
2 モーダルシフトの促進	中部運輸局	「モーダルシフト等推進事業」が創設されたことを受け、CO2排出原単位の小さい輸送手段への転換を推進し低炭素型の物流体系の構築を図る。	継続			
	中部地方環境事務所	○物流分野におけるCO2削減対策促進事業(国土交通省連携事業) ・トラック輸送高効率化支援事業(新規) ①連結トラック導入支援事業 対象者:民間事業者等 対象車両:連結トラック(トラクター及びトレーラー) (購入額の1/3を補助) ②スワップボディコンテナ車両導入支援事業(新規) 対象者:民間事業者等 対象車両:スワップボディコンテナ車両(一般的なトラックとの差額の1/2を補助) ・既存の旅客交通システムを活用した省CO2輸送システムモデル事業(今年度限り) ①未利用輸送力を活用した貨物輸送の低炭素化促進事業(継続、今年度限り) ②中山間地における貨客混載促進事業(新規、今年度のみ) 対象者:物流事業者、旅客運送事業者、自治体等 対象車両:EV車(購入費の1/2を補助)	継続	○物流分野におけるCO2削減対策促進事業(国土交通省連携事業) (トラック輸送高効率化支援事業は平成32年度まで実施)	継続	(今年度限り)
3 積載率の向上等の徹底	春日井市	環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、最大積載量の遵守、燃費管理の徹底を実施	継続		継続	
5 物流拠点等の整備促進	中部運輸局	「物流業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」(H17年7月公布、H17年10月施行、平成28年10月改正)に基づく、物流拠点の集約化等によりCO2排出量削減等が図られる総合効率化計画の認定(愛知県内認定件数:5件)	継続			

(2) 公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組(予定も含む)	2020年度以降に実施予定の取組	
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	中部地方環境事務所	地球温暖化に資する国民運動「COOL CHOICE」の推進のうち、公共交通の利用促進「smart move(スマートムーブ)」普及啓発事業 地球温暖化防止活動の一環として、「移動」を「エコ」に。」をテーマとして、よりCO2排出量の少ない「移動」を推進する「smart move(スマートムーブ)」キャンペーンを実施。	継続 (2030年まで継続の国民運動)	継続 (2030年まで継続の国民運動)	
	名古屋市	○地下鉄東山線の終電時刻延長 平成26年7月より、金曜日及び休日の前日(8月13日～15日、12月29日～1月3日、土・日・休日は除く)における終電を45分延長	継続	継続	
		○地域巡回バスの運行時間帯拡大 平成27年4月より、地域巡回バス全22系統において、従来の8往復(9時台～16時台)に加え1往復(8時台または17時台)を増便	継続	継続	
		○バス停留所施設の整備 ・照明付き標識84基、上屋19基、ベンチ31基、基幹バス2号シェルター改修1基	継続 ・照明付き標識100基、上屋25基、ベンチ15基、基幹バス2号シェルター改修1基(2019年度)	継続 ・照明付き標識100基、上屋25基、ベンチ15基、基幹バス2号シェルター改修1基	
	豊橋市	○幹線バス路線終バス延長実施 豊鉄バス西口線・豊橋技科大線・中浜大崎線の3路線について、豊橋駅前の下り便を金曜日・土曜日の現行の終バス後に1本増発	継続	継続	
		○豊鉄バス「元気バス」購入助成による高齢者への路線バス利用促進	継続	継続	
		○夏休み小学生50円バス実施 小学生の路線バスの利用促進を図るため、夏休み期間中に交通事業者及び東三河各市町村が連携して、東三河の路線バスのこども運賃を1乗車一律50円とする	継続	継続 ・照明付き標識100基、上屋25基、ベンチ15基、基幹バス2号シェルター改修1基(平成31年度)	
	岡崎市	○中山間地域におけるコミュニティバス等の運行 ○公共交通の利用促進 11月4日・5日に公共交通に親しむ日を実施し、公共交通に対する意識改革と利用の動機づけを行った。 ○まちなかにおけるまちバスの運行 H30年1月より東岡崎駅への接続に伴うルート変更を行った。	継続 ○中山間地域におけるコミュニティバス等の運行 ○公共交通の利用促進 11月2日・3日に公共交通に親しむ日を実施し、公共交通に対する意識改革と利用の動機づけを行う。 ○まちなかにおけるまちバスの運行	継続 ○中山間地域におけるコミュニティバス等の運行 ○公共交通の利用促進 11月上旬に公共交通に親しむ日を実施し、公共交通に対する意識改革と利用の動機づけを行う。	
	一宮市	i-バスの運行	継続	継続	i-バスの運行
		i-バスミニの運行開始	継続	継続	i-バスミニを運行
	半田市	地域公共交通会議の開催 【防災交通課】	継続	継続	継続
		地区路線バスの整備 ※行政運営による新規の地区路線バスを3路線導入。 【防災交通課】	継続	継続	継続
	春日井市	地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発	継続	継続	継続
		次世代自動車の導入、自動車利用の抑制およびエコドライブの推進など環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施している事業所などを「かすがいエコオフィス」と認定し、その取り組みを促進	継続	継続	継続
愛知環状鉄道設備改修補助 愛知環状鉄道の設備の改修及びICカードシステムの整備導入に係る補助金の交付		継続	継続	愛知環状鉄道設備改修補助 愛知環状鉄道の設備の改修に伴う補助金の交付	
かすがいシティバスの運行		継続	継続	継続	

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）	2020年度以降に実施予定の取組	
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	豊川市	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティバス10路線を運行し、その利用促進策として「夏休み小学生50円バス」、「夏休み路線バス探検キャラバン」、「1日フリー乗車券の通年発売」等を実施。 ・夏休み小学生50円バス 実施期間：7/21～9/2 利用人数：286人 内容：小学生のバス運賃を1乗車50円 ・夏休み路線バス探検キャラバン 実施日：8/4 参加人数：66人 内容：小学生以下と保護者を対象に、路線バスの整備工場の見学や路線バスとの綱引き体験など ・1日フリー乗車券通年販売 販売開始：10/1～ 販売枚数：大人1,622枚・小人6枚 内容：市内バス路線において、1日乗り放題が可能な乗車券を通年販売 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティバス体験乗車会及び乗り方教室の実施（追加） ○標準的なバス情報フォーマットを作成し、時刻表や路線を検索するアプリ等でコミュニティバスの情報が掲載されるように整備（追加） 	継続
	津島市	○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 市民等の活動支援及び公共施設利用の利便性の向上を図るため、津島市巡回バス「ふれあいバス」の運行をした。	継続	継続	
	碧南市	くるくるバス（市内巡回バス）を4路線に分け、運賃無料で運行している。	継続	継続	継続
	豊田市	効率的で利便性の高い公共交通の実現を目指すため、必要に応じて路線改編を行うとともに、バス評価とそれに伴う地域バス支援を実施。	継続	効率的で利便性の高い公共交通の実現を目指すため、必要に応じて路線改編を行うとともに、バス評価とそれに伴う地域バス支援を実施。	効率的で利便性の高い公共交通の実現を目指すため、必要に応じて路線改編を行うとともに、バス評価とそれに伴う地域バス支援を実施。
	西尾市	デマンド型乗合タクシー（いこまいカー）の運行事業委託	継続	継続	継続
		市街地循環バス（六万石くるりんバス）（いっちゃんバス）の運行事業委託	継続	継続	継続
		○名鉄西尾・蒲郡線の利用促進 市民応援団に利用促進業務を委託。また、利用者数増進のため、団体・親子に対し運賃補助。（団体：延べ219団体、親子：延べ243組） ○鉄道施設維持管理費を負担	継続	継続	継続
	新城市	○公共交通機関の整備及び維持・充実・利用促進 市バス事業を実施	継続	継続	継続
		○公共交通機関の整備及び維持・充実・利用促進 高速乗合バス事業を実施（新城～藤が丘）	継続	新規 ○充電インフラ施設の整備促進 新庁舎建設と併せて自動車充電設備を予定⇒予定なし	継続
	日進市	コミュニティバス（くるりんばす）の運行	継続	コミュニティバス（くるりんばす）の運行	継続 コミュニティバス（くるりんばす）の運行
	豊山町	地域公共交通会議の開催	継続	地域公共交通会議の開催	継続 地域公共交通会議の開催
	大口町	コミュニティバス運行事業	継続	コミュニティバス運行事業	継続 コミュニティバス運行事業
	名古屋高速道路公社	○道路の広域ネットワークの形成（名古屋高速道路の建設） ・名古屋西JCT 近畿自動車道伊勢線連絡路	継続	継続	継続
	NPO法人ボランティア リーネイバース	公共交通機関の利用促進（スタッフ通勤・社用時利用）	継続	公共交通機関の利用促進（スタッフ通勤・社用時利用）	継続 公共交通機関の利用促進（スタッフ通勤・社用時利用）
	瀬戸市	瀬戸市コミュニティバス（8路線）の運行 市内イベントに名鉄バス参加（年1回） バスの乗り方教室開催（年1回） 菱野団地住民バス運行再開	継続	継続	継続
	刈谷市	○刈谷市公共施設連絡バスの運行 渋滞緩和や環境負荷低減等の観点から市内公共施設等を結ぶ連絡バスを委託運行する。	継続	○刈谷市公共施設連絡バス改編に伴う、ダイヤ及び一部路線の改正を実施した。	○刈谷市公共施設連絡バス改編に伴う、ダイヤ及び一部路線再編について検討する。

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）	2020年度以降に実施予定の取組		
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	安城市	○あんくるバスの運行 11路線でコミュニティバスの運行を実施 ○あんくるタクシーの運行 3地区においてデマンドタクシーの運行を実施	継続	継続		
		安城市民であり、かつ、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者の市内循環バス（あんくるバス）及びデマンドタクシー利用の無料化を図る（H26.10.1～）	継続	継続		
	蒲郡市	「市民まるごと赤い電車応援団」を主体とした名鉄利用促進活動の実施 予算1,950千円	継続	継続		
			新規	東部地区支線バス「とがみくるりんバス」運行補助（10月～） 予算3,304千円	継続	東部地区支線バス「とがみくるりんバス」運行補助 予算6,608千円
			新規	西部地区支線バス運行補助（1月～） 予算1,550千円	継続	西部地区支線バス運行補助 予算6,200千円
		形原地区支線バス「あじさいくるりんバス」運行補助 予算6,000千円	継続	継続	継続	
	犬山市	コミュニティバスの運行 ・5台8路線を曜日運行（平成30年11月30日まで） ・平成30年12月からは8台8路線による平日毎日（月～金）の運行を実施	継続	コミュニティバスの運行 ・8台8路線の平日毎日運行（12/29～1/4は除く）	継続	
	常滑市	コミュニティバスの運行	継続	継続	継続	
	江南市	○公共交通機関利用促進のための啓発 市役所等で公共交通機関のチラシ等を配付	継続	継続	継続	
	小牧市	コミュニティバスの運行 19コースを18台で運行（12/31～1/4は除く）	継続	継続	継続	
	稲沢市	●コミュニティバスの運行 6路線7系統 延べ利用者数 179,357人	継続	●コミュニティバスの運行 5路線6系統	継続	●コミュニティバスの運行
		●コミュニティタクシーの運行 延べ利用者数 182人	継続	●コミュニティバス接続便の運航 （※コミュニティタクシーから名称変更）	継続	●コミュニティバス接続便の運航
	東海市	○75歳以上の市内循環バス運賃無料化 75歳以上の市内在住者に専用バスケースを配布。後期高齢者被保険者証とセットで使用することで市内循環バスの運賃を無料化した	継続		継続	
		○公共交通機関の整備及び維持・充実 東海市循環バスの運行 3ルート6系統 利用者数：439,172人	継続		継続	
	大府市	○公共交通機関の利用促進 将来的なバス利用者育成を目的として、市内小学生向けに「バスの乗り方教室」を実施。	継続		継続	
		○公共交通機関の維持、利用促進 循環バス「ふれあいバス」の運行	継続		継続	
	知多市	○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 ・知多市コミュニティ交通の運行事業者に対する運行維持を目的とした負担金の支払い ・バス乗降調査の実施	継続	・バス乗降調査の実施 ・利用者アンケートの実施 ・65歳以上の運転免許自主返納者及び75歳以上の市民のコミュニティ交通運賃を無料化	継続	・バス乗降調査の実施 ・バスルートの変更
	知立市	コミュニティバスの運行	継続		継続	
	尾張旭市	○公共交通機関の整備及び維持・充実 市営バス「あさびー号」の運行 路線数：2（西ルート・東ルート） 便数：平日9便、土休日5便 利用者数236,096人	継続		継続	
	岩倉市	デマンド型乗合タクシーの運行（2台） 平成30年度末時点登録者数 2,020人 平成30年度利用者数 5,947人	継続	2019年9月末で運行を終了	終了	
		新規	ふれあいタクシーの運行（2019年10月から）	継続		
豊明市	○公共交通機関の整備及び維持 低公害車であるコミュニティバス（ひまわりバス）を3台運行。	継続		継続		
	○公共交通機関の整備及び維持 乗り合い送迎サービス車（チョイソコ）を試験運行。	継続		継続		

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	田原市	○田原市コミュニティバスの運行 公共交通空白地域の解消及び市街地の活性化のため、市内7路線の運行実施	継続	○田原市コミュニティバスの運行 公共交通空白地域の解消及び市街地の活性化のため、市内7路線の運行実施 (10月から5路線に変更)	継続	
	弥富市	コミュニティバスの運行	継続		継続	
	みよし市	コミュニティバス（さんさんバス）の運行	継続		継続	
	東郷町	コミュニティバスの運行	継続		継続	
	飛島村	公共交通機関の維持 飛島バス（蟹江線・名港線）の運行 乗合タクシーによる海南病院と村バス停間の運行	継続		継続	
	阿久比町	公共交通機関の利用促進 循環バスの運行	継続		継続	
	東浦町	バスギャラリーの開催 バスの乗り方教室開催（3月）	継続	バスギャラリーの開催 バスの乗り方教室開催 Google経路検索の導入	継続	バスギャラリーの開催 バスの乗り方教室開催
	南知多町	住民の要望により、平成30年10月1日に、バス停を2箇所設置。	終了		継続	
	美浜町	コミュニティバスの運行	継続	コミュニティバスの運行	継続	コミュニティバスの運行
	武豊町	○コミュニティバスの運行	継続		継続	
	幸田町	○コミュニティバスの運行 えこたんバス（コミュニティバス）で町内を4路線に分け、無料で運行している。	継続		継続	
2 乗合バス事業者等への補助	豊橋市	○路線維持費補助 路線バスへの支援	継続		継続	
		○コミュニティバス運行事業費補助 公共交通空白地域における高齢者等の移動手段を確保する	継続		継続	
	岡崎市	○不採算バス路線の確保維持 不採算バス路線を確保することで、地域住民の生活交通の確保維持を行った。	継続		継続	
	一宮市	バス路線維持対策補助金	継続		継続	
	半田市	乗合バス事業者等への補助 ※市内を運行する路線バス会社に補助 【防災交通課】	継続		継続	
	春日井市	廃止代替路線補助 名鉄バスの運行する玉野台循環線に欠損が生じた際に補助金を交付	継続		継続	
		事業者が共同で行う通勤バス等の通勤支援業務委託に対して助成金を交付。（助成額:対象経費の50%以内、限度額:3,000万円/年） (1件)	継続	1件交付済	継続	
	豊川市	・地方バス路線運行対策費補助金を広域バス路線の運行事業者である豊鉄バス（新豊線・豊川線）へ交付 (補助金額)豊鉄バス:26,230,000円	継続		継続	
	豊田市	対象となる市内民間路線への欠損額補助を実施予定	継続	対象となる市内民間路線への欠損額補助を実施予定	継続	対象となる市内民間路線への欠損額補助を実施予定
	西尾市	乗合バス事業者（ふれんどバス）に対する補助	継続		継続	
	豊山町	バス運行補助負担金（路線バスの支援）	継続	バス運行補助負担金（路線バスの支援）	継続	バス運行補助負担金（路線バスの支援）
	瀬戸市	市内基幹バス運行事業者（名鉄バス）へ運行経費の補助	継続		継続	
	刈谷市	○乗合バス事業者への路線維持費補助 名鉄バスが運行する刈谷・愛教大線維持するため、維持費の補助を実施。	継続		継続	
安城市	○路線バス事業者への補助 市内を運行する路線バス2路線に対し、運行継続のための補助を実施	継続		継続		

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
2 乗合バス事業者等への補助	蒲郡市	特定区画バス運行補助 予算4,000万円	継続		継続	
	江南市	○乗合バス事業者への補助 5路線 (江南・病院線、江南団地A線、D線、E線、木曾川線)	継続		継続	
	小牧市	名鉄バスの間内・岩倉線への運行費補助	継続		継続	
	知多市	○乗合バス事業者等への補助 ・市内路線バス3路線（岡田線・日長団地線・佐布里線）の運行事業者に対する運行維持を目的とした補助金の交付 ・バス乗降調査の実施	継続	・バス乗降調査の実施	継続	・バス乗降調査の実施
	高浜市	乗合バス事業者等への補助 市内4路線を2台の車両で、隣接市1施設へ1台の車両で循環運行。	継続		継続	
	田原市	○地方バス路線支援 生活交通路線を維持するため、豊鉄バス伊良湖本線及び支線運行を支援	継続		継続	
	東郷町	乗合バス事業者（名鉄バス）への補助 (1路線、1件)	継続		継続	
	南知多町	乗り合いバス（海っ子バス）を委託し運行している。	継続		継続	
	愛知県	乗合バス事業者等への補助 三河山間地域における生活基盤として重要な役割を果たしている過疎バス及び過疎特定バス路線を維持・確保するため、欠損額等について助成する。 乗合バス 4路線 市町村営バス 33路線 ○乗合バス事業者への補助 地域住民の生活の足の確保・維持を目的として、広域的・幹線的なバス路線を運航する乗合バス事業者に対し、欠損額等について助成する。（5事業者へ交付）	継続	乗合バス事業者等への補助 三河山間地域における生活基盤として重要な役割を果たしている過疎バス及び過疎特定バス路線を維持・確保するため、欠損額等について助成する。 乗合バス 4路線（予定） 市町村営バス 33路線（予定）	継続	乗合バス事業者等への補助 三河山間地域における生活基盤として重要な役割を果たしている過疎バス及び過疎特定バス路線を維持・確保するため、欠損額等について助成する。 乗合バス 4路線（予定） 市町村営バス 33路線（予定）
3 交通結節点の改善	豊田市	豊田市駅バス乗降口整備の予備設計及び関係機関協議	継続	豊田市駅バス乗降口整備の詳細設計及び関係機関協議	継続	豊田市駅バス乗降口整備の整備実施に向けた関係機関協議
	新城市	○交通結節点の改善 JR新城市において駅前広場整備を実施（平成32年度完了予定）	継続		継続	
	刈谷市	○モニター設置 東刈谷駅北口バス停、野田新町駅北口バス停にモニターを設置した。	継続	○モニター設置 妻駅南口バス停、たんぼぼバス停、富士松駅にモニターを設置する。	達 継続	○モニター設置 利用状況に基づき順次モニターを設置する。

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）	2020年度以降に実施予定の取組	
4 パーク・アンド・ライド駐車場の整備	名古屋市	○パークアンドライド駐車場の整備及び利用促進 ・認定制度による民間駐車場の有効活用 ・ウェブサイトや情報誌等による認定パークアンドライド駐車場の広報	継続 ○パークアンドライド駐車場の整備及び利用促進 ・認定制度による民間駐車場の有効活用 ・ウェブサイトによる認定パークアンドライド駐車場の広報	継続 ○パークアンドライド駐車場の整備及び利用促進 ・認定制度による民間駐車場の有効活用 ・ウェブサイトによる認定パークアンドライド駐車場の広報	
	半田市	パーク・アンド・ライド駐車場の管理・運営 ※半田市雁宿駐車場 【防災交通課】	継続	継続	
	碧南市	市内3ヶ所のパークアンドライドを維持管理している。 収容台数：84台（30台、32台、22台）	継続	継続	
	豊田市	愛知環状鉄道駅沿いに5駐車場（貝津駅、末野原駅、四郷駅、保見駅、八草駅）を引き続き運用	継続	継続	
	蒲郡市	名鉄形原駅前駐車場（旧西部市民センター）整備	継続	継続	
	大府市	市営駐車場の運営、啓発	継続	継続	
	田原市	○田原駅南公共駐車場の管理・運営 パーク＆ライド駐車場として位置付けられている田原駅南公共駐車場の管理・運営	継続	継続	
	東浦町	平成30年4月からイオンモール東浦がパークアンドライド事業を廃止したため、パークアンドライド事業の推奨方法を改めて検討。	継続	今後、パークアンドライド登録制度の実施を検討し、事業の推進を図りたい。	
	愛知県	○桃花台線旧車両基地用地の一部をパーク＆ライド駐車場として活用 中央道高速バスの停留所に隣接する桃花台線旧車両基地用地（愛知県と小牧市の共有地）の一部を駐車場事業者へ貸付し、パーク＆ライド駐車場として活用。	継続	継続	継続
		○愛・地球博記念公園駅北側パーク＆ライド駐車場の運営（パーク＆ライド推進会議で運営） リニモの利用促進及び車から公共交通（リニモ）への転換を図るため、愛・地球博記念公園駅北側においてパーク＆ライド駐車場を運営。	継続	継続	継続
5 バリアフリー化の促進	中部運輸局	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、ハード面では施設や車両等のバリアフリー化の補助事業による推進、ソフト面では誰もが自然に快くサポートできる「心のバリアフリー」の啓発事業により、公共交通機関の利便性及び安全性の向上に取り組む。	継続		
	名古屋市	○車両・施設の整備改良等 ・名城線・名港線への可動式ホーム柵の設置（2020年度完成予定） ・名城線・名港線への可動式ホーム柵の設置に向け、定位置停止のための車両改造等54両（9編成）	継続	・名城線・名港線への可動式ホーム柵の設置（2020年度完成予定） ・名城線・名港線への可動式ホーム柵の設置に向け、定位置停止のための車両改造等54両（9編成）（2019年度） ・車いすスペースが設置された地下鉄車両の導入（2019年度） 鶴舞線車両1編成 135編成中108編成（80.0%）	継続
		○施設の整備 ・改札内での乗換えエレベーターの整備 継続3駅（名古屋駅、丸の内駅、栄駅） 新規1駅（今池駅）	継続	・改札内での乗換えエレベーターの整備 継続3駅（名古屋駅、栄駅、今池駅）	継続
		○地下鉄駅施設の整備 ・ベビーチェア（一般トイレ内）の整備 継続整備1駅（本郷駅） 全87駅中87駅整備完了 ・トイレリニューアルによる増設整備 新規2駅（神宮前駅、覚王山駅） 男子トイレ115基 女子トイレ117基	継続	・ベビーチェア（一般トイレ内）の整備 全87駅中87駅整備完了 ・トイレリニューアルによる増設整備 新規5駅（上前津駅、栄駅、金山駅、市役所駅、伝馬町駅、名古屋駅） 男子トイレ123基 女子トイレ125基	継続
		○車内案内表示装置の設置 地下鉄車両における車内案内表示装置の設置 782両中744両（導入率95.1%）	継続	地下鉄車両における車内案内表示装置の設置 8両導入 782両中752両（導入率96.2%） （2019年度）	継続
		○ノンステップバスの導入 52両導入（48両廃車） 1,018両中1,018両（導入率100%）	終了	・バス車両更新においては引続きノンステップバスとする。	継続
		○バリアフリー化補助 ・南栄駅バリアフリー化工事	継続	○バリアフリー化補助 ・南栄駅バリアフリー化工事 ・新豊橋駅ホーム転落防止柵設置工事	継続

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）	2020年度以降に実施予定の取組
5 バリアフリー化の促進	岡崎市	○バリアフリー化の促進 JR西岡崎駅バリアフリー化事業について、補助及び駐輪場の整備を行った。	継続 ○バリアフリー化の促進 JR西岡崎駅バリアフリー化事業への補助を行う。	継続 H31年度 JR西岡崎駅エレベーター設置工事完了予定 H32年度 名鉄岡崎公園前駅エレベーター設置工事完了予定 愛環北岡崎駅エレベーター設置工事完了予定
	豊田市	基幹バスは全車対応済み。地域バスは、車両更新に合わせて順次更新	継続 基幹バスは全車対応済み。地域バスは、車両更新に合わせて順次更新	継続 基幹バスは全車対応済み。地域バスは、車両更新に合わせて順次更新
	小牧市	名鉄小牧線小牧口駅バリアフリー化施設整備費補助（2018～2019）	継続	終了
	南知多町	町が委託している乗り合いバス（海っ子バス）において、ノンステップバスが採用されている。	継続	継続
	美浜町	コミュニティバスに福祉車両を導入（1台）	継続 コミュニティバス（福祉車両）の運行	継続 コミュニティバス（福祉車両）の運行
6 利用者のニーズにあった運賃制度の導入等	名古屋市	○「ドニチエコきっぷ」の発売 平成18年4月より、土日休日、環境保全の日（毎月8日）及び土日休日ダイヤ特別運行日専用の市バス・地下鉄一日乗車券を、通常の市バス・地下鉄の一日乗車券よりも安価な600円で発売	継続 ・地下鉄全線24時間券の新設 2019年5月27日から、地下鉄全線一日乗車券に代わり、地下鉄が24時間乗り放題となる、地下鉄全線24時間券を販売。	継続
	豊川市	・1日フリー乗車券通年販売 販売開始：10/1～ 販売枚数：大人1,622枚・小人6枚 内容：市内バス路線において、1日乗り放題が可能な乗車券を通年販売	継続	継続
	東海市	○市民向けアンケート調査の実施 これまでの聞き取り調査及び乗降調査に加え、循環バスを含む公共交通機関の利用についてアンケートを実施した	終了	
	南知多町	町が委託している乗り合いバス（海っ子バス）において、定期券、回数券、一日券を販売している。 8路線 年間利用者数190,109人（H30実績）	継続	継続

(3) 自動車利用方法の改善、多様化

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組(予定も含む)	2020年度以降に実施予定の取組
1 次世代自動車等先進エコカーによるカーシェアリングの推進	豊田市	超小型電気自動車のシェアリング事業を実施(約50ステーション、コムス約100台規模で実施。(事業名:ハーモ))	継続	超小型電気自動車のシェアリング事業を実施(約60ステーション、コムス約120台規模で実施。(事業名:ハーモ))
2 用途に合った次世代自動車等先進エコカーの利用促進	東栄町	用途に合った次世代自動車等先進エコカーの利用促進・V2L等と組み合わせて、防災等に役立てていく	継続	
3 自動車利用の抑制・平準化	春日井市	地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発	継続	継続
	(一社)中部経済連合会	○渋滞緩和策の実施 刈谷市内における更なる渋滞緩和策の必要性を検討	継続	継続
	NPO法人中部リサイクル運動市民の会	カーシェアリングの利用を継続中。 社員に対する自動車通勤の原則禁止の通達をし、継続中。	継続 継続	
	安城市	総合運動公園内の体育施設にて開催される大会の事前打合せにおいて、乗り合わせによる来場を参加者へ周知するよう主催者に要請した。	継続	継続
	小牧市	ノーカーデーの実施	継続	継続
	大府市	○ノーカーデーの実施 原則、毎月第1金曜日をノーカーデーとし、通勤に公共交通機関、自転車等の自家用車以外での通勤の協力を呼び掛けている。	継続	継続
	岩倉市	ノーカーデー(毎月第1水曜日)を実施し、公用車の利用を自粛する。	継続	継続
	豊明市	○「ノーカー出張の日」の推進 毎週木曜日をノーカー出張の日とし、職員に対して自動車利用の抑制を呼びかけ。	継続	継続
	田原市	○レンタサイクル事業の実施 田原市中心市街地にレンタサイクルステーションを5カ所設置し、31台の自転車を無料で貸し出し	継続	継続
	東郷町	ノーカーデーの実施 毎年12月第1水曜日に愛知県が実施する「県内一斉エコ通勤デー」に賛同し、通勤に公共交通機関、自転車等の自家用車以外での通勤	継続	継続
4 エコ通勤・エコ通学の促進	中部運輸局	「エコ通勤優良事業所認証制度」の普及促進	継続	
	豊橋市	市役所職員においてエコ通勤の推奨	継続	継続
	一宮市	○ノーカーデーの実施 毎月第1水曜日をノーカーデーとし、職員に自家用車での通勤を控え、徒歩や自転車、公共交通機関での通勤を促す。	継続	継続
	春日井市	自動車利用の抑制及びエコドライブの推進など、環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、従業員へのエコ通勤を励行	継続	継続
	碧南市	職員へ、毎月エコ通勤週間を設けている。	継続	継続
	豊田市	「豊田エコ交通をすすめる会」のワーキングチームによるモビリティマネジメントを実施。また、小学校向けに豊田エコ交通出前教室について、8校実施。	継続	「豊田エコ交通をすすめる会」の実践事業所によるモビリティマネジメントを実施。また、小学校向けに豊田エコ交通出前教室について、5校実施予定。(9月時点)

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
4 エコ通勤・エコ通学の促進	西尾市	西尾市役所として毎月エコ通勤週間を定めて、職員の公共交通機関や自転車、徒歩、自動車の相乗りなどによる通勤を推進している。	継続		継続	
	日進市	エコモビ通勤の実施（職員が月2回ノーカーデー通勤の実施、毎月第一水曜日はエコモビの日に合わせて積極的に実施するように推進）	継続	エコモビ通勤の実施（職員が月2回ノーカーデー通勤の実施、毎月第一水曜日はエコモビの日に合わせて積極的に実施するように推進）	継続	エコモビ通勤の実施（職員が月2回ノーカーデー通勤の実施、毎月第一水曜日はエコモビの日に合わせて積極的に実施するように推進）
	知立市	毎月1回、職員のノーマイカーデーとしてエコ通勤を促進	継続		継続	
	田原市	○エコ通勤デーの実施 毎月第3水曜日をエコ通勤デーと定め、市職員に対して自転車や徒歩、公共交通機関の利用等を推進	継続		継続	
	清須市	ノーマイカーデーの推進（毎月10日、20日、30日）	継続		継続	
	弥富市	職員マイカーデーの取り組み 毎月第一水曜日 通勤距離5キロ以下の者 毎週水曜日 通勤距離2キロ以下の者	継続		継続	
	あま市	毎月、ノーマイカー通勤デーを実施	継続	・ノーマイカー通勤を毎月行い、温室効果ガス削減の意識を高める	継続	
	蟹江町	毎月10日を「ノーカーデー」として、自転車等での通勤を励行する。	継続		継続	
	阿久比町	ノーマイカーデーの実施 毎月第1水曜日をノーマイカーデーとしてエコ通勤を推進	継続		継続	
	東浦町	ノーマイカーデーの実施	継続	ノーマイカーデーを推奨する	継続	ノーマイカーデーを推奨する
	幸田町	○エコドライブの啓発 職員を対象としたチェックシートで啓発を実施。	継続		継続	
	5 EVを活用したスマートグリッドの検討	豊田市	エコフルタウンでの導入効果のPR 引続きPRを実施	継続	引続きPRを予定	継続
7 「エコモビリティライフ」の推進	豊橋市	ええじゃないかカーフリーデー2018 9/23開催 モビリティウィーク9/16～22	継続	ええじゃないかカーフリーデー2019 9/15開催 モビリティウィーク9/16～22	継続	
	津島市	○「エコモビリティライフ」の推進 「エコモビ」を推進するために、毎月第3木曜日を「エコモビの日」をして設定。「自家用車」の使用をできるだけ避け、徒歩や自転車、公共交通機関での通勤を実践していただくように推進した。	継続		継続	
	日進市	エコモビリティライフの推進（啓発チラシの設置）	継続	エコモビリティライフの推進（啓発チラシの設置）	継続	エコモビリティライフの推進（啓発チラシの設置）
	豊山町	あいちエコモビリティライフ推進協議会が主催するエコモビ実践キャンペーンへ事業所として参加	継続	あいちエコモビリティライフ推進協議会が主催するエコモビ実践キャンペーンへ事業所として参加	継続	あいちエコモビリティライフ推進協議会が主催するエコモビ実践キャンペーンへ事業所として参加
	(公社)愛知県バス協会	エコモビリティライフの推進	継続		継続	
	(一社)中部経済連合会	○エコモビリティライフの推進 エコモビリティ推進協議会のメンバーとして会員企業への周知を図り、エコモビリティライフを推進	継続		継続	
	NPO法人ボランティアネイバーズ	エコモビリティライフの推進 ・あいちエコモビリティライフ推進協議会委員として啓発活動	継続	エコモビリティライフの推進 ・あいちエコモビリティライフ推進協議会委員として啓発活動	継続	
	瀬戸市	庁内にチラシを設置し啓発	継続		継続	
	蒲郡市	「エコモビリティライフの推進」 エコモビの日及びその前後2日間エコモビを実践した職員数を毎月集計し、実践率を職員に公表している。	継続		継続	
	江南市	○市ホームページで「エコモビリティライフ」の啓発記事を掲載	継続		継続	
	小牧市	エコモビリティライフの推進 市ホームページにおいて、エコモビリティライフ推進事業記事の掲載、市役所窓口における啓発チラシの設置。	継続		継続	

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
7 「エコ モビリティ ライフ」の推進	尾張旭市	○エコモビリティライフの推進 毎月第1水曜日を「エコモビの日」とし、職員に環境にやさしい交通行動を励行	継続		継続	
	豊明市	○「エコ・モビリティ・ライフ」の推進 庁内電子掲示板にて呼びかけ。	継続		継続	
	北名古屋市	・エコモビリティライフの推進 市役所職員に対し、毎月第1水曜日に自転車や徒歩、公共交通機関を使用して通勤するよう、掲示板にて周知し、実施を求めた。	継続		継続	
	東郷町	環境イベントで「エコ モビリティ ライフ」を推進 (町環境イベントでのブース出展、チラシ配布)	継続		継続	
	愛知県	・県内事業所が、一定期間に「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」を実践する「エコモビ実践キャンペーン」を実施 ・「エコモビ」推進の取組や「エコモビ」活動を行っている団体を募集・表彰する「エコモビ推進表彰」を実施 ・11月9日に「エコ モビリティ ライフ 県民の集い2018」を開催 ・県内各地でエコモビ普及啓発活動を実施 (「あいちエコモビリティライフ推進協議会」(事務局：交通対策課)の活動)	継続	・環境にやさしい交通行動を県民に周知する「エコモビキャンペーン」など、県内各地でエコモビ普及啓発活動を実施 ・「エコモビ」推進の取組や「エコモビ」活動を行っている団体を募集・表彰する「エコモビ推進表彰」を実施 ・11月6日に「エコ モビリティ ライフ 県民の集い2019」を開催 (「あいちエコモビリティライフ推進協議会」(事務局：交通対策課)の活動)	継続	

(4) 自転車等の利用促進

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組(予定も含む)	2020年度以降に実施予定の取組	
1 歩道、自転車通行帯、自転車駐輪場の整備等	中部地方整備局	【名国】自転車歩行者道の整備 国道153号 豊田市力石町～豊田市勘八町地内において、自転車歩行者道を整備(L=1.6km)	継続	継続	
		【名国】自転車歩行者道の整備 国道155号 瀬戸市山口町地内において、自転車歩行者道を整備(L=0.6km)	継続	終了	
		【名国】歩道の整備 国道153号 豊田市小田木町地内において、歩道の整備	継続	終了	
		【名国】自転車通行空間の整備 国道22号 名古屋市中区錦～名古屋市区西区菊井地内等において、自転車通行空間の整備	継続	継続	
	名古屋市	○自転車通行空間の整備：整備道路延長約0.2km(市道呉服町通0.2km) ○自転車駐車場の整備：有料自転車駐車場整備1駅(伏屋駅)	継続	○自転車通行空間の整備 ほかに約3.9km、市道西蔵下輪ノ内町線ほか、約0.8km	継続
	豊橋市	「豊橋市自転車活用推進計画」に定められた優先整備路線について自転車通行空間を整備する 施工延長 L=1000m	継続	「豊橋市自転車活用推進計画」に定められた優先整備路線について自転車通行空間を整備する 施工延長 L=2830m	継続
	一宮市	○一宮市自転車ネットワーク計画(仮称)の策定作業を実施	新規	○一宮市自転車ネットワーク計画を策定	継続
		○歩道の整備 ・(都)今伊勢北方線 L=182m ・(都)光明寺二ツ屋線 L=240m ・(都)五城森上線 L=290m	新規	○歩道の整備 ・(都)今伊勢北方線 L=700m ・(都)福塚線 L=440m ・(都)光明寺二ツ屋線 L=310m ・(都)五城森上線 L=420m	継続
	半田市	歩道整備 【土木課】	継続	継続	
		自転車駐輪場の整備 【防災交通課】	継続	継続	
	春日井市	市街地における歩道の整備	継続	継続	
		自転車道や歩行者道としてのふれあい緑道の整備	継続	継続	
		自転車駐車場の管理について 利用しやすい環境をつくるため、自転車の整理及び適切な維持管理を実施している	継続	継続	
		自転車駐車場の整備 JR神領駅において、自転車駐車場を整備	継続	自転車等駐車場の整備 JR高蔵寺駅、名鉄味美駅において、自転車等駐車場を整備	継続
	豊川市	○歩道の整備(市道穂ノ原六角線) 歩道整備(L=136m)	継続	継続	終了
		○歩道の整備(市道足山田大木線) 歩道整備(L=320m)	継続	継続	終了
		○歩道の整備(市道西方御津紡線)	継続	継続	継続
		○歩道の整備(都市計画道路上宿樽井線(市田野口工区)) 用地取得及び物件補償	継続	歩道整備(L=60m) 測量	物件調査 継続
		○歩道の整備(都市計画道路桜町千両線) 用地取得及び物件調査	継続	歩道整備(L=320m)	用地取得及び物件補償 継続
		○歩道の整備(市道上長山一宮線) 用地取得	継続	車道部分工事(L=640m)	歩道整備(L=680m) 終了

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
1 歩道、自転車通行帯、自転車駐輪場の整備等	新城市	○歩道の整備 八東穂1号線 八東穂県社線	継続		終了	
	刈谷市	○バリアフリー化の促進 歩道の段差解消及び連続照明による照度確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・市道2-496号線、銀座他、L=189m ・市道01-36号線、住吉町他、L=153m	継続	○バリアフリー化の促進 歩道の段差解消及び連続照明による照度確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・市道2-496号線、銀座他、L=193m ・市道01-25号線、東陽町地内、L=38m ・市道01-36号線、住吉町他、L=211m ・市道01-19号線、相生町他、L=240m	継続	○バリアフリー化の促進 歩道の段差解消及び連続照明による照度確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・市道01-36号線、住吉町他、L=482m
		○歩道の整備 道路新設改良工事 ・市道2-496号線、銀座他、L=189m ・市道01-40号線、熊野町他、L=133m	継続	○歩道の整備 道路新設改良工事 ・市道2-496号線、銀座他、L=193m ・市道01-4号線、今川町他、L=161m ・市道01-4号線、西境町他、L=360m ・市道01-29号線、小垣江町、L=246m	継続	○歩道の整備 道路新設改良工事 ・市道01-4号線、今川町他、L=45m ・市道01-4号線、西境町他、L=700m ・市道01-40号線、熊野町他、L=1437m
	安城市	○自転車走行空間の整備 ブルーラインによる自転車走行空間の整備を実施 (市道今池篠目3号線 1,200m)	継続	○自転車走行空間の整備 ブルーラインによる自転車走行空間の整備を実施 (市道大東住吉線 800m)	継続	
	蒲郡市	通学路内のカラー舗装整備	継続		継続	
	犬山市	善師野駅南第2自転車等駐車場の増設（約150台分）				
	江南市	○歩道の整備 市道北部第117号線 江南市小脇町・小杖町地内において歩道を整備 (L=0.2km)	継続	○歩道の整備 市道北部第117号線 江南市小脇町・小杖町地内において歩道を整備 (L=0.2km)	継続	
		○市の無料自転車等駐車場の管理 駐車台数 2,580台/1日	継続	○市の無料自転車等駐車場の管理 駐車台数 2,580台/1日	継続	
		○路線バス利用者用の自転車駐車場新設 路線バスの停留所付近に自転車駐車場を設置	継続	新たに路線バス利用者用の自転車駐車場を設置予定	継続	未定
	小牧市	市道北外山小木線外歩道整備を実施。	継続	市道前田2号線外歩道整備を実施予定。	継続	
	東海市	・自歩道の整備 市道名和養父線において自歩道整備を実施	終了			
					継続	・歩道の整備 市道三ツ池線始め8路線の歩道整備を実施
	大府市	○利用しやすい環境をつくるため、自転車の整理の徹底及び適切な維持管理を実施 ○歩道、安全柵等の整備 ○緑道の整備	継続		継続	
	知多市	市道20479号線において歩道を整備 (L=400m)	継続	市道10270号線（市道東屋敷線）の歩道整備の設計を行った	継続	市道10270号線（市道東屋敷線）の歩道整備の設計、用地取得、工事を行う
	豊明市	通学路全域で歩道の一部を緑色に塗り、児童のための通学路として整備。	継続		継続	
	扶桑町	歩道の整備 町道江南-扶桑線（L=200m）	終了			
		歩道の整備 町道南山名高雄線（L=100m）	終了			
		新規	歩道の整備 町道高雄橋爪線（L=400m）	新規	歩道の整備 町道高雄橋爪線（L=400m）	終了
東浦町	歩道の整備 石浜376号線(L=16m)	継続	歩道の整備 藤江117号線(L=70m)	継続	歩道の整備 西平地西之宮線(L=330m) 緒川南北線(L=160m)	
	○歩道、自転車歩行者道等の整備 一般県道蜂須賀白浜線・津島市寺野町始め94箇所において、歩道、自転車歩行者道等を整備	継続	○歩道、自転車歩行者道等の整備 一般県道長洞犬山線・犬山市大字前原始め80箇所において、歩道、自転車歩行者道等を整備	継続	○歩道、自転車歩行者道等の整備 一般県道浅井清須線・一宮市西大海道始め81箇所において、歩道、自転車歩行者道等を整備	

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
2 自転車利用の促進	中部地方環境事務所	スマートバイク・イニシアチブの展開 人と環境にやさしい自転車の利用を促進して持続可能な社会づくりを目指すコンセプトで、当事務所管内で展開している。主にウェブサイトにて情報発信を行っている。	継続		継続	
	豊橋市	○サイクルビット整備 ・ 自転車利用者がサイクリング中に気軽に立ち寄り、休憩や自転車の簡易なメンテナンスを行うことができる「サイクルビット」を市内各所に設置し、自転車を快適に利用できる環境を整備する。	継続	○サイクルビット整備 ・ 自転車利用者がサイクリング中に気軽に立ち寄り、休憩や自転車の簡易なメンテナンスを行うことができる「サイクルビット」を市内各所に設置し、自転車を快適に利用できる環境を整備する。	継続	
		○電動アシスト自転車購入補助金 電動アシスト自転車購入者への補助（666台）	継続		継続	
		電動アシスト自転車の公用利用（10台）	継続		継続	
	半田市	○公用自転車の活用	継続		継続	
		竜の子街道フォトラリー 【観光課】	継続	竜の子街道サイクリングマップのPR 【観光課】	継続	竜の子街道サイクリングマップのPR 【観光課】
	春日井市	公用自転車の導入 生活保護世帯への訪問時等に利用する目的で、公用の自転車を導入した。	継続		継続	
		地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発	継続		継続	
	豊田市	自動車利用の抑制及びエコドライブの推進など、環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいいエコオフィス認定事業所において、従業員へのエコ通勤を励行	継続		継続	
		産業フェスタにて子ども向け自転車体験を実施。	継続	産業フェスタにて子ども向け自転車体験を実施。	継続	各種イベント等を活用した利用促進策や、公共交通と連携した自転車利用促進施策を検討・実施。
	NPO法人中部リサイクル運動市民の会	社員に対する自転車通勤に関する取り決めを作成し、運用を継続中。	継続			
	NPO法人ボランティアネイバース	自転車利用の促進（スタッフ通勤・社用利用）	継続	自転車利用の促進（スタッフ通勤・社用利用）	継続	自転車利用の促進（スタッフ通勤・社用利用）
	安城市	○自転車購入及びT Sマーク付帯保険に対する補助 （自転車購入補助42件、自転車安全整備費補助660件） ○自転車啓発イベントの実施 ○子ども自転車教室の開催（2回）	継続		継続	
	蒲郡市	電動アシスト自転車購入補助金を交付（40件）	継続		継続	
	犬山市	職員に対し、近場への移動で市保有自転車の利用を促す。	継続		継続	
	江南市		新規	○自転車活用イベントの実施 自転車活用推進イベントを実施し利用促進等を啓発する予定	継続	
	大府市	「地球温暖化防止月間」・「大気汚染防止推進月間」における啓発の一環で、広報、ホームページに掲載する。	継続		継続	
	尾張旭市	市役所庁舎に公用自転車を設置し、近場への移動の際に活用した。	継続		継続	
	蟹江町	電動自転車を公用車として使用する。 （H21年度導入/30台）	継続		継続	
	東浦町	不用品回収で住民から回収した自転車を、公用自転車として再利用（9台）	継続	不用品回収で住民から回収した自転車を、公用自転車として再利用（2台）	継続	
幸田町	○放置自転車の再利用 放置自転車や粗大ごみで出された自転車を整備し公用自転車として使用。	継続		継続		

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
3 自転車共同利用の促進	一宮市	○レンタサイクルの実施 観光案内所にて有料のレンタサイクルを実施 ・1人乗り用・・・3台 ・幼児同乗用・・・2台	継続		継続	
	半田市	レンタサイクル事業 【観光課】	継続		継続	
	春日井市	レンタサイクル 放置自転車をリサイクルすることで、廃棄物の減量を図りつつ、市民の移動支援を行う	継続		継続	
	豊田市	超小型電気自動車のシェアリング事業を実施（約50ステーション、コムス約100台規模で実施。（事業名：ハーモ））	継続	超小型電気自動車のシェアリング事業を実施（約60ステーション、コムス約120台規模で実施。（事業名：ハーモ））	継続	超小型電気自動車のシェアリング事業を実施（約60ステーション、コムス約120台規模で実施。（事業名：ハーモ））
	NPO法人中部リサイクル運動市民の会	社員共有の自転車を事務所に設置し、継続中。	継続			
	NPO法人ボランティアネイバース	自転車共同利用の促進(事務所車普及)	継続	自転車共同利用の促進(事務所車普及)	継続	自転車共同利用の促進(事務所車普及)
	安城市	○レンタサイクル事業の実施 11ポート61台でレンタサイクル事業を実施	継続	○レンタサイクル事業の実施 11ポート46台でレンタサイクル事業を実施	継続	
	知立市	駅前駐車場と市役所に自転車を設置し、観光・買物等に利用	継続		継続	
	豊明市		新規	公民館に自転車を設置し、観光用に貸し出しを実施 電動アシスト自転車 3台 自転車 3台	継続	
	愛知県	○ リニモ沿線レンタサイクル（パーク&ライド推進会議で運営・レンタサイクル台数70台） リニモ沿線における公共交通の利用促進・観光周遊等の促進と地球温暖化防止のため、沿線の学生・住民・観光客や企業等の従業員に対して登録制のレンタサイクルを実施。	継続		継続	
4 パーソナルモビリティの普及	豊田市	一般市民を対象に、中心市街地においてとよたエコフルタウンを起点としたパーソナルモビリティの公道ツアー等の実証実験を実施	継続	一般市民を対象に、市管理の公園内及び中心市街地においてパーソナルモビリティの公道ツアー等の実証実験を実施	継続	一般市民を対象に、市管理の公園内及び中心市街地においてパーソナルモビリティの公道ツアー等の実証実験を実施

6 交通流対策の推進

(1) 通過・流入交通の分散、回避

施策名	実施主体	2018年度実施した取組		2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組	
1 環状道路、バイパスの整備	中部地方整備局	【愛国】環状道路の整備 名古屋環状2号線の整備	継続		継続		
		【愛国】環状道路の整備 41号名濃バイパスの整備	継続		継続		
		【名四】バイパスの整備 国道23号名豊道路の整備	継続		継続		
		【名四】バイパスの整備 国道153号豊田北バイパスの整備	継続		継続		
		【名四】バイパスの整備 国道155号豊田南バイパスの整備	継続		継続		
		【名四】バイパスの整備 西知多道路（東海JCT）の整備	継続		継続		
	中日本高速道路(株)名古屋支社	交通の円滑化のための高規格幹線網の新規整備 名古屋第二環状自動車道 上郷スマートIC 刈谷スマートIC	継続	交通の円滑化のための高規格幹線網の新規整備 名古屋第二環状自動車道 上郷スマートIC 刈谷スマートIC	継続	交通の円滑化のための高規格幹線網の新規整備 名古屋第二環状自動車道 上郷スマートIC 刈谷スマートIC	
	愛知県道路公社	○インターチェンジの新規整備 ・武豊北IC（仮称） ・りんくうIC出口追加	継続	○インターチェンジの新規整備 ・武豊北IC（仮称） ・りんくうIC出口追加【2019年度終了予定】	継続	○インターチェンジの新規整備 ・武豊北IC（仮称）	
	(一社)中部経済連 合会	○広域幹線道路網の整備推進 愛知県などと共に国等に対し広域幹線道路網の整備等に対する要望活動を実施。併せて「中部圏の交通ネットワークのさらなる充実に向けて」を公表し、整備推進に協力	継続	○広域幹線道路網の整備推進 従来からの要望活動に加え、個別道路の要望等についても必要に応じて対応	継続		
	大府市	市街地への通過交通を抑制するため、バイパス的な幹線道路の整備、延長	継続		継続		
	尾張旭市	○バイパスの整備 市道巡検道線の渋滞を緩和するために市道南栄3号線の整備を実施	終了	○バイパスの整備 市道巡検道線の渋滞を緩和するために市道南栄3号線の整備を実施（2019年度完了予定）	継続		
		新規	○バイパスの整備 市道巡検道線の渋滞を緩和するために市道南栄6号線の道路拡幅整備を実施（測量設計等）	継続	○バイパスの整備 市道巡検道線の渋滞を緩和するために市道南栄6号線の道路拡幅整備を実施（用地取得等）		
武豊町	○道路改良 町道大門田・清水第2号線 武豊町大字東大高字清水ほか地内において道路改良工事及び用地買収を実施	継続		継続			
愛知県	○環状道路、バイパスの整備 県内32地区で、街路事業を実施。	継続	県内31地区で、街路事業を実施	継続			
	○環状道路、バイパス等の整備 東三河環状線はじめ101箇所	継続	○環状道路、バイパス等の整備 東三河環状線はじめ103箇所	継続	継続実施（箇所数未定） 2020年度以降も環状道路、バイパス等の整備を推進する。		
2 立体交差事業等の推進	名古屋市	○道路と鉄道の立体交差化 単独立体交差事業の実施 ・都計守山本通線と名鉄瀬戸線 ・都計万場藤前線と近鉄名古屋線	継続		継続	○道路と鉄道の立体交差化 連続立体交差事業の実施 ・名鉄名古屋本線（山崎川～天白川） 単独立体交差事業の実施 ・都計守山本通線と名鉄瀬戸線 ・都計万場藤前線と近鉄名古屋線	
	半田市	JR武豊線連続立体交差化事業 【市街地整備課】	継続		継続		
	江南市	○立体交差事業の推進 名鉄犬山線布袋駅付近において鉄道高架事業を実施	継続		継続		
	知立市	連続立体交差事業等の推進 知立駅付近連続立体交差事業を実施	継続		継続		
	愛知県	○連続立体交差事業等の推進 知立市、半田市において連続立体交差事業を実施。	継続		継続		
		○交差点改良 一般国道東浦阿久比線、東浦町石浜交差点始め33箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施	継続	○交差点改良 一般国道248号、瀬戸市品野町六丁目交差点始め35箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施	継続	○交差点改良 一般国道248号、瀬戸市品野町六丁目交差点始め31箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施	
		○道路と鉄道の立体交差事業等の推進 (主)岐阜稲沢線 刈安賀1号踏切ははじめ3箇所	継続	○道路と鉄道の立体交差事業等の推進 (主)岐阜稲沢線 刈安賀1号踏切ははじめ4箇所	継続	継続実施（箇所数未定） 2020年度以降も立体交差事業等を推進する。	

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）	2020年度以降に実施予定の取組
3 駐車違反車両の取締強化、啓発の実施	愛知県警察本部	○ 交通事故や交通渋滞を誘発する悪質な違法駐車に対する取締りを重点的に実施	継続	継続
4 幹線道路における交通規制の実施	愛知県警察本部	1 交通実態に応じた信号システムの充実と見直し 2 交通規制等の見直し	継続	継続

(2) ITSを活用した環境負荷の少ない交通システムの構築促進

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）	2020年度以降に実施予定の取組
1 ETCの新たな利活用方法の検討	愛知県道路公社	○ ETCレーンの増設及び更新を実施	終了	終了
		○ ETCを活用した通勤時間帯割引 ・ 知多半島道路の通行料金を3割引 (6時～9時、17時～20時)	継続	継続
3 新交通管理システムの整備	愛知県警察本部	○ 光ビーコン(光学式情報収集提供装置)の整備 ※ 光ビーコン 90基の整備	継続	継続
4 ITS総合情報提供基盤の整備	豊田市	移動支援ポータルサイト「みちなびとよた」及び鉄道駅等に設置したタッチパネル端末にて交通情報等を提供。利便性向上等の改善を実施。	継続	継続
	名古屋高速道路公社	○ 高速道路等情報サービス施設の整備 ・ 各種道路情報板の設置 ・ ラジオによるハイウェイ(道路)情報の提供 ・ VICS(道路交通情報通信システム)の情報提供 ・ ホームページによる混雑情報の提供 ・ 中部国際空港への所要時間案内表示(情報板)6ヶ所 ・ ハイウェイテレホンによる所要時間情報の提供 ・ 名古屋高速お客様センターを開設し各種問合せに対応 ・ 携帯電話による所用時間情報等の提供 ・ 同じ方向に向かう並行路線の経路分岐手前情報板で所要時間情報を提供 4ヶ所 ・ 知多半島道路(北行)愛知県道路公社情報板で名古屋高速の渋滞情報等を提供	継続	継続
	NPO法人ITS JAPAN	中期計画(2016～2020)に基づいた検討 および提言活動 ・ 移動手段を連携したサービス実証検討 ・ サービス実現への暫定的共通基盤づくり	継続	継続
5 プローブ情報の活用促進	豊田市	プローブ情報を解析して抽出した危険箇所について、交通事故対策を実施。	継続	終了
6 渋滞、駐車場、大気汚染等各種情報の提供	愛知県警察本部	○ 交通情報提供装置の整備	継続	継続
	豊田市	利便性を向上した新たな駐車場案内システムを整備	継続	継続
	常滑市	自動車排出ガス測定局による大気汚染の常時監視	継続	継続
	大府市	市内2箇所の大気汚染測定局で大気汚染測定実施	継続	継続
	愛知県	道路沿道環境状況予測システム運営 名古屋南部地域及び岡崎・安城地域を対象として、NO2及びSPMの年平均濃度が、環境基準を超過すると予測される場合、道路交通情報板を用いて道路沿道の大気汚染状況等の環境情報の提供を行った。 【実績】情報提供 0回	継続	【実績】情報提供0回(10月末まで)
7 産・学・行政の連携によるITSの推進	豊田市	交通まちづくり推進協議会及び部会の運営を実施	継続	継続
	NPO法人ITS JAPAN	関連団体および産官学連携のITS推進 ・ 産官学連携によるITSシンポジウム実施 ・ 各種活動における情報共有活動	継続	継続
	刈谷市	○ ITSに関する実証実験の実施 民間企業と連携しながら、ITS活用の具体的活用に向けた社会実験を進めた。	継続	継続
	愛知県	「愛知県ITS推進協議会」の活動として、ITSあいち県民フォーラム(5月31日)等を実施。 (愛知県ITS推進協議会(事務局:交通対策課)の活動)	継続	継続
			「愛知県ITS推進協議会」の活動として、あいちITSワールド2019(11月21～24日)、ITSあいち県民フォーラム(5月28日)等を実施。 (愛知県ITS推進協議会(事務局:交通対策課)の活動)	
				「愛知県ITS推進協議会」の活動として、ITSあいち県民フォーラム等を実施。 (愛知県ITS推進協議会(事務局:交通対策課)の活動)

7 自動車交通集中地域等の対策の推進

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）	2020年度以降に実施予定の取組
1 自動車交通集中地域等の対策の推進	愛知県警察本部	○ 愛知県道路環境対策連絡会議における取組の推進	継続	継続
	名古屋市	○ 常時観測局の測定結果の公表 ・インターネットにより、毎月の大気汚染常時監視速報値及び毎年度の確定値を情報提供している。（名古屋高速道路及び名古屋環状2号線9局）	継続	継続
	長久手市	市内200地点において、二酸化窒素の簡易計測を実施	継続	終了
	愛知県	<6-2-6再掲> 道路沿道環境状況予測システム運営	継続	継続

8 普及啓発活動の推進

(1) 次世代自動車等先進エコカーの普及・啓発

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）	2020年度以降に実施予定の取組	
1 次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施	名古屋市	○ イベントのバレード車 な・ご・や商業フェスタ（4月2日）、名古屋まつり（10月20、21日）	継続	○ イベントのバレード車 な・ご・や商業フェスタ（4月1日）、名古屋まつり（10月19、20日開催予定）	継続
	半田市	次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施 ※FCV：1台・EV：1台保有 【環境課】	継続		継続
	春日井市	国道19号交通事故抑止「T&K作戦」（4月13日）、緑と花のフェスティバル（5月3日から5月5日）、消費生活展（6月8、9日）、エコライフDAYにおける「打ち水」（8月1日）、春日井まつり（10月20、21日）、エコメッセフェスタ（11月18日）において電気自動車展示 アースデイ朝宮公園（5月6日）において、燃料電池自動車展示	継続	国道19号交通事故抑止「T&K作戦」（4月13日）、緑と花のフェスティバル（5月3日から5月5日）、消費生活展（6月7、8日）、エコライフDAYにおける「打ち水」（8月7日）、春日井まつりにおいて電気自動車展示 アースデイ朝宮公園2019（5月5日）、エコメッセフェスタにおいて、燃料電池自動車展示	継続
	豊川市	○ おいでん祭で燃料電池自動車展示 ・5/26・27開催	継続	○ おいでん祭で燃料電池自動車展示 ・5/25・26開催	終了
	豊田市	「とよたSAKURAプロジェクト」として次世代自動車普及促進事業を展開 【H30取組内容】 (1) 防災関連イベント、防災訓練、地域防災講座での活用 → パートナー制度を活用し、自動車販売店が協力し、地域防災イベントへ出展 (2) 環境関連イベント、環境教育での活用（環境関連施設、学校） (3) エコファミリー支援補助金のPR（次世代自動車、外部給電・充電設備への補助） (4) 豊田市PRイベントでの活用 【イベント等出展】 7月14日マイタウンおいでん（豊田スタジアム）始め 14件 【地域防災訓練等への出展】 自治区等地域で実施される防災訓練をはじめとする行事に外部給電機能を持つ車を配車し、市民に啓発。 7件（うちパートナー協力5件）	継続	引き続き取組を実施 【H30取組内容】（件数は9月末現在予定しているもの） (1) 防災関連イベント、防災訓練、地域防災講座での活用 → パートナー制度を活用し、自動車販売店が協力し、地域防災イベントへ出展 (2) 環境関連イベント、環境教育での活用（環境関連施設、学校） (3) エコファミリー支援補助金のPR（次世代自動車、外部給電・充電設備への補助） (4) 豊田市PRイベントでの活用 【イベント等出展】 8月24～25日とよた産業フェスタ（ブース来場者約1500人）始め 11件 【地域防災訓練等への出展】 自治区等地域で実施される防災訓練をはじめとする行事に外部給電機能を持つ車を配車し、市民に啓発。 8月17日益富中学校防災キャンプ始め 22件（うちパートナー協力8件）	民間事業者と連携を深め、引き続き普及促進を推進する。
		燃料電池車の購入補助を実施 次世代自動車普及促進費補助金 個人向け：17件 事業者向け：7件	継続	燃料電池車の購入補助を実施 次世代自動車普及促進費補助金（9月末時点） 個人向け：7件 事業者向け：2件	引き続き補助を予定

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）	2020年度以降に実施予定の取組
1 次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施	(一社) 日本自動車工業会	環境省COOL CHOICEの一環として、チョイス！エコカーキャンペーンに賛同し協力している。	継続	継続
	小牧市	環境フェアの開催 燃料電池自動車の展示	継続	継続
	田原市	○次世代自動車等先進エコカーの普及啓発 平成30年7月22日に開催した「たはらエコフェスタ2018」において燃料電池自動車MIRAIの試乗会及び新型プリウスPHVの展示会を実施	継続	○次世代自動車等先進エコカーの普及啓発 令和元年6月16日に開催した「たはらエコフェスタ2019」において新型プリウスPHVの展示会を実施
	長久手市	次世代自動車等先進エコカーの普及啓発セミナーの実施	終了	
	東栄町	次世代自動車と先進エコカー普及に向けて広報等の実施 ・町内で行われるイベントでのEV活用事例紹介 等供給業者との調整次第 ※V2L	継続	
2 エコカーフェアやモーターショーの企画開催	名古屋市	○イベントの実施 ・環境デーなごや2018中央行事（9月15日）でエコカーコーナーを設け、FCV、EV、PHV、CDV、CNG車、LPG車等を展示 ○試乗会の実施 ・FCVの同乗試乗（8月4日 サイエンスパーク） ○出前講座の実施 ・小・中・高校生を対象とした出前講座でのFCV、PHVの展示	継続	○イベントの実施 ・環境デーなごや2019中央行事（9月14日）でエコカーコーナーを設け、FCV、EV、PHV、CDV、CNGバイフューエル車、LPG車等を展示 ○試乗会の実施 ・PHV、FCVの体験試乗（5月30、31日 ポートメッセなごや） ・FCVの同乗試乗（6月29日 サイエンスパーク） ○出前講座の実施 ・小・中・高校生を対象とした出前講座でのFCV、PHVの展示
	豊橋市	高等学校エコカーレース総合大会 6/24開催	継続	継続
	(一社) 愛知県トラック協会	○9月30日、豊田スタジアムにおいて「第14回みんなて学ぼう！トラックと交通安全・環境フェア」を開催(台風により中止)	継続	○10月6日、中部トラック総合研修センター（みよし市）において「第15回トラックフェスティバル」を開催 ※ 名称を変更
	(一社) 日本自動車工業会	平成30年は東京モーターショーは休催年。 政府や自治体のエコカーフェアなどのイベント催行の場で、都度、エコドライブの推進に協力してきた。(例：エコドライブチャンピオンシップ2018@鈴鹿への協賛・参画を通じて、エコドライブに関する啓発活動を行った)	継続	令和元（2019）年には東京モーターショーを開催する。各種催事の開催を通じて、次世代自動車の普及啓発やエコドライブの啓発を推進・訴求する。 また、政府や自治体のエコカーフェアなどのイベント催行の場を通じて、エコドライブの推進に都度、協力している。
3 次世代自動車等先進エコカー導入に関する自主的取組の促進	NPO法人ITS JAPAN	安全・環境にやさしい自動運転取組み推進 ・世界動向調査とSIP活動支援 ・公共交通利用シナリオ検討	継続	継続
	愛知県	エコカーの導入等、あいち自動車環境戦略2020に掲げる施策に積極的に取り組む事業所を「自動車エコ事業所」として認定。 【H30年度認定事業所数：4、H16～H29累計認定事業所数：111】	継続	継続
4 燃料電池自動車の普及	名古屋市	○イベントでのFCVの展示 ・区民まつり、防災訓練（9月2日）、環境デーなごや2018中央行事（9月15日） ○試乗会の実施 ・FCVの同乗試乗（8月4日 サイエンスパーク） ○出前講座の実施 ・小・中・高校生を対象とした出前講座でのFCVの展示	継続	○イベントでのFCVの展示 ・区民まつり、防災訓練（5月26日）、中部ライフガードテック2019（5月30、31日）、環境デーなごや2019中央行事（9月14日）、あいち・なごや防災フェスタ（10月19、20日開催予定） ○試乗会の実施 ・FCVの同乗試乗（6月29日 サイエンスパーク） ○出前講座の実施 ・小・中・高校生を対象とした出前講座でのFCVの展示
	岡崎市	○エコドライブコンテスト（11月25日開催15名参加） FCVの展示、試乗の実施 ○環境フェスタ（1月19日開催（豊田、安城、知立、みよし合同）） FCVの展示	継続	○エコドライブコンテスト（11月24日開催予定） FCVの展示、試乗の実施
	春日井市	アースデイ朝宮公園2018（5月6日）において、燃料電池自動車を展示	継続	アースデイ朝宮公園2019（5月5日）、エコメッセフェスタにおいて、燃料電池自動車を展示
	西尾市	環境Wave21において、FCVの展示及び試乗会を実施。（12月2日）	継続	環境Wave21において、FCVの展示及び試乗会を実施。（12月1日）
	豊山町		新規	11月9日環境フェスティバルを開催し、燃料電池自動車の出展を実施
	(一社) 日本ガス協会（東邦ガス株）	あいちFCV普及促進協議会への参画、および「メッセナゴヤ」等のイベントへの参加によるFCVと水素ステーションのPR	継続	継続

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組（予定も含む）		2020年度以降に実施予定の取組
4 燃料電池自動車の普及	岩倉市	岩倉市主催の「環境フェア」（11月10日（土）開催）において燃料電池自動車（県所有）1台を展示	継続	「環境フェア」（11月10日（日）開催）において燃料電池自動車（県所有）1台を展示予定	実施未定のため
	蟹江町	第37回かにえ町民まつりにて、燃料電池自動車の展示を予定（10月6日・7日）	継続	第38回かにえ町民まつりにて、燃料電池自動車の展示を予定（10月12日・13日）	
	幸田町	○燃料電池自動車の普及 燃料電池自動車（FCV）を購入する町内の個人・業者に対して補助金を交付。 （個人、事業者ともに0台）	継続		継続
	愛知県	○あいち次世代自動車インフラ整備推進協議会の開催（1回） ○展示・試乗会の開催（29回） ○次世代自動車フォーラムの開催（1回） ○あいちFCV普及促進協議会の開催（1回）	継続		継続

9 道路環境改善対策

(1) 道路構造対策、沿道の環境改善対策の推進

施策名	実施主体	2018年度実施した取組	2019年度実施した取組 (予定も含む)	2020年度以降に実施予定の取組		
1 道路構造対策	中部地方整備局	【名国】道路施設対策 国道23号南区東又兵衛町～港区築盛町地内において、環境施設帯設置工事を実施予定(緑地帯)	継続	継続	【名国】道路施設対策 国道23号港区藤前～緑区大高町地内において、環境施設帯設置工事を実施予定(緑地帯)	
	名古屋市	名古屋市道等の幹線道路にて低騒音舗装を実施(L=約6.1km)	継続	継続	名古屋市道等の幹線道路にて低騒音舗装を実施(延長未定)	
	半田市	JR武豊線連続立体交差化事業 【市街地整備課】	継続			
	名古屋高速道路公社		継続	○低騒音舗装(排水性舗装)の実施:リフレッシュ工事 ・高速都心環状線:5.1km ・高速3号大高線(南行き):3.1km	○低騒音舗装(排水性舗装)の実施:リフレッシュ工事 ・高速都心環状線:5.2km ・高速3号大高線(北行き):1.2km	
	刈谷市	○道路構造対策 低騒音舗装(排水性舗装)の実施 ・市道2-496号線、銀座他、L=189m ・市道01-40号線、熊野町他、L=133m	継続	○道路構造対策 低騒音舗装(排水性舗装)の実施 ・市道2-496号線、銀座他、L=193m ・市道01-4号線、西境町他、L=360m ・市道01-25号線、東陽町、L=38m	継続	○道路構造対策 低騒音舗装(排水性舗装)の実施 ・市道01-36号線、住吉町他、L=482m ・市道01-4号線、西境町他、L=700m ・市道01-40号線、熊野町他、L=1437m
		○道路構造対策 低騒音舗装(排水性舗装)の実施 ・市道01-15号線、築地町他、L=347m	継続	○道路構造対策 低騒音舗装(排水性舗装)の実施 ・市道01-15号線、一ツ木町他、L=290m	終了	
		○道路構造対策 低騒音舗装(排水性舗装)の実施 ・市道01-36号線、新栄町他、L=346m	終了			
	愛知県	○排水性舗装の実施 必要な箇所において、実施する。	継続		継続	
		○低騒音舗装の敷設 なし	継続	○低騒音舗装の敷設 なし	継続	○低騒音舗装の敷設 土地利用及び自動車の交通状況を勘案して道路交通騒音の低減を図る必要がある箇所において、排水性舗装を実施
	2 沿道の環境改善対策	中部地方整備局	【名国】沿道の環境改善 国道23号通行ルール周知の広報を実施。	継続	継続	
名古屋市			新規	○国道23号通行ルールのPR 国道23号沿線でドライバーに向けて、大型車は中央寄りの車線を通行するように呼びかけを実施。(4月24日)	継続	
名古屋高速道路公社		○住宅の防音工事に対する助成を実施 ・名古屋高速道路沿線において、騒音レベルが基準を超える家屋を対象に適宜実施	継続		継続	
稲沢市		●平成28年度ワークショップにて決定した交通環境改善対策の実施(平成29年度から平成31年度の3カ年の予定) ●対策路線において、センターライン削除+路肩拡幅を目的としたカラー塗装+外側線実施(約270m) ●幅員狭小な対策路線に速度低下を促すイメージによる緑石設置(約200m)	継続	●ワークショップで決定した対策の残り(緑石設置)を実施予定	終了	
愛知県		土地区画整理事業において、幹線道路の沿道に適切な土地利用の誘導を推進する。	継続		継続	
3 自動車騒音の最新規制適合車への転換を促進	石油連盟	運輸部門のCO2対策等として、国の持続可能性基準(GHG削減効果など)に適合したバイオ燃料をETBE方式で導入しています(2018年度のETBE導入目標量は全国で194万kl→全国平均のETBE配合率3.8%に相当)。	継続		継続	食料競合の発生しない、廃棄物等から生産した「次世代エタノール」の導入にも取り組んで行く予定です。
	(一社)日本自動車工業会	自動車騒音の低減に向けて、騒音規制に対応した世界トップクラスの静かな自動車を供給。 二輪車、四輪車とも国連法規に即した新たな国際的基準への適合に係る活動を推進した。	継続		継続	

事業者の皆様へ

貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱

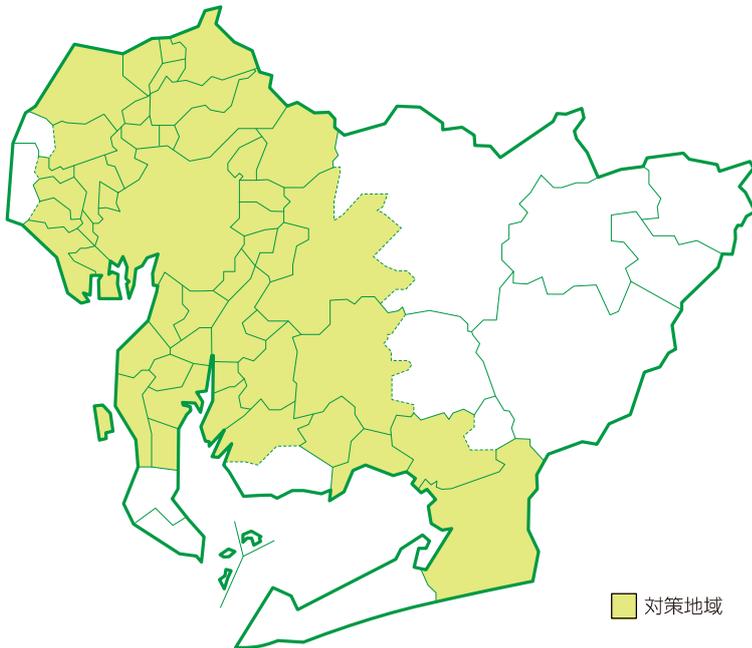
- 非適合車の使用抑制
- エコドライブの実施



大気環境基準の達成維持及び地球温暖化防止を目指して、
自動車NOx・PM法の対策地域外からの流入車も含め、
対策地域において運行する車両を対象として、
車種規制非適合車の使用抑制及びエコドライブの促進を図るための
要綱を制定・施行しました。皆様のご協力をお願いします。

対象となる地域と車両

対策地域



愛知県内47市町村 (平成23年4月現在)

- 名古屋市 ■豊橋市 ■岡崎市*1 ■一宮市
- 瀬戸市 ■半田市 ■春日井市 ■豊川市*2
- 津島市 ■碧南市 ■刈谷市 ■豊田市*3
- 安城市 ■西尾市*4 ■蒲郡市 ■犬山市
- 常滑市 ■江南市 ■小牧市 ■稲沢市*5
- 東海市 ■大府市 ■知多市 ■知立市
- 尾張旭市 ■高浜市 ■岩倉市 ■豊明市
- 日進市 ■愛西市*6 ■清須市 ■北名古屋市
- 弥富市 ■みよし市 ■あま市 ■東郷町
- 長久手町 ■豊山町 ■大口町 ■扶桑町
- 大治町 ■蟹江町 ■飛島村 ■阿久比町
- 東浦町 ■武豊町 ■幸田町

- ※1 旧額田町を除く
- ※2 旧一宮町を除く
- ※3 旧藤岡町、旧小原村、旧足助町、旧下山村、旧旭町及び旧稲武町を除く
- ※4 旧一色町、旧吉良町及び旧幡豆町を除く
- ※5 旧祖父江町を除く
- ※6 旧立田村及び旧八開村を除く

対象自動車

1 1,4,6ナンバーのトラック、バン



2 2ナンバーのバス、マイクロバス (一部、5,7ナンバーを含む)



3 8ナンバーの特種自動車 (人の運送の用に供する乗車定員11人未満のもの(救急車等)を除く)



- ※ 緑ナンバー、白ナンバーとも対象
- ※ 乗用自動車、軽自動車、二輪自動車、及び特殊自動車 (0, 9ナンバー) は対象外

適合・非適合の見方

自動車検査証 (車検証) の「備考」欄で、排出ガス基準の適合状況を確認してください。

車検証

ここを確認してください。

【備考欄の記載内容】

● 「使用車種規制 (NOx・PM) 適合」

→ 適合車

● 上記以外
「この自動車はNOx・PM対策地域内に使用の本拠を置くことができません」など

→ 非適合車

(対策地域内では運行させないようにしましょう。)

- ※一部、備考欄に適合状況の記載がない場合もありますが、型式・燃料の種類から確認できます。
- 詳しくは愛知県ホームページ (<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/taiki-ka/car/yoko/index.html>) をご覧ください。
- ※平成17年規制適合車 (ADF-など型式記号が3桁のもの)、天然ガス自動車、電気自動車は全て適合車です。

【運送を行う事業者】の取組内容

環境に配慮した運送を実施する。

① 非適合車を使用しないようにしましょう。

対策地域外からの車であっても、自動車NOx・PM法に定める排出ガス基準に適合しない自動車(非適合車)は、対策地域内では運行させないようにしましょう。

澄んだ青空を取り戻すために
環境への負荷が小さい自動車を
利用しましょう。



② 適合車ステッカーを表示しましょう。



環境省・国土交通省へのステッカー交付申請について

適合車ステッカーは、環境省又は国土交通省に申請することにより、無償交付(郵送料は必要)を受けられます。詳しくは、下記のURLを参照してください。

環境省ウェブサイト <http://www.env.go.jp/air/car/noxpm/sticker.html>

国土交通省ウェブサイト http://www.mlit.go.jp/jidosha/noxpm/houkoku/noxpm_sticker.html

※ 白ナンバー車は環境省、緑ナンバー車は国土交通省。

次のステッカーも適合車ステッカーに該当します。※星の数などは排ガス性能により異なります。



③ エコドライブを実践・推進しましょう。

自動車から排出される大気汚染物質(NOx・PM)・温室効果ガス(CO₂)を最小限にとどめるため、ドライバーと運行管理者は協力してエコドライブを実践・推進してください。

【荷主等・旅行者】の取組内容

環境に配慮した運送を要請・確認する。

非適合車の不使用を要請・確認しましょう。

■ 荷主等(荷受人を含む)は

対策地域内から、又は対策地域内に貨物・廃棄物の運送を委託する場合や、物品を購入・借入れ・譲受けし運送させる場合は、相手先に対して非適合車を使用しないこととエコドライブの実施を要請してください。また、非適合車が使用されていないか確認してください。



■ 旅行者は

対策地域内での発着を伴う旅客運送を委託する場合は、バス事業者に対し、非適合車を使用しないこととエコドライブの実施を要請してください。また、非適合車が使用されていないか確認してください。



特定荷主等及び特定旅行者は定期報告を

特定荷主等、特定旅行者は毎年度6月30日までに指定様式により愛知県知事(名古屋市内の方は「名古屋市長」、岡崎市内の方は「岡崎市長」)に下記の項目を報告してください。

- 非適合車を使用しない旨の要請状況 非適合車の確認状況

報告先・報告様式等につきましては愛知県ホームページをご確認ください。

<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/taiki-ka/car/yoko/index.html>

※本制度での特定荷主等とは下記に定義する荷主等をいうものであり、省エネ法に規定される特定荷主とは異なります。



「特定荷主等」とは 荷主等のうち、継続的に又は反復して、貨物等を他の者に委託して運送させ、又は購入等をする物品を運送させる者であって、資本金の額等が3億円を超え、かつ、対策地域内に建物の延べ面積が1万平方メートルを超える事業所又は敷地面積が3万平方メートルを超える事業所を有するもの。

「特定旅行者」とは 対策地域内に営業所を有する第一種旅行者であって、他の者に委託して対策地域内で対象自動車を利用するもの。

環境に配慮した運送を周知する。

① 非適合車の不使用を周知しましょう。

■ 中継施設の管理者は

中継施設に対象となる自動車で出入りする事業者に対して、「対策地域内では非適合車を使用しないよう求められている」ことについて周知してください。



「中継施設」とは、対策地域内に存する以下の施設のことをいいます。

- 港湾法に規定する重要港湾
- 空港法に規定する空港
- 鉄道の貨物駅
- 卸売市場法に規定する中央卸売市場

■ 対象自動車を販売・賃貸する事業者は

対象自動車を購入、又は賃借する事業者に対して、「対策地域内では非適合車を使用しないよう求められている」ことについて周知してください。



② 適合車ステッカーを周知しましょう。

■ 対象自動車を整備する事業者は

対象自動車の整備を受ける事業者に対して、「対策地域内で適合車を運行する場合、適合車ステッカーの表示が求められている」ことについて周知してください。



貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱 概要図



愛知県 環境局地球温暖化対策課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
【TEL】 052-954-6217 【FAX】 052-955-2029

名古屋市
City of Nagoya

名古屋市環境局地域環境対策部大気環境対策課
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
【TEL】 052-972-2682 【FAX】 052-972-4155



岡崎市環境部環境保全課

〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地
【TEL】 0564-23-6194 【FAX】 0564-23-6536